



令和4年度（2022年度）
学 生 募 集 要 項
学 校 推 薦 型 選 拔 Ⅱ

法 教 理 医 歯 工 共
文 育
学 学 学 学
部 部 部 部 部 部
同 獣 医 学 部

入学者選抜実施日程

インターネット出願 登録及び入学検定料 等支払い手続き期間	令和4年(2022年)1月11日(火)～1月20日(木)
出 願 期 間 (出願書類等の提出)	令和4年(2022年)1月18日(火)～1月20日(木)
選 抜 実 施 日	令和4年(2022年)2月5日(土)
合 格 者 発 表	令和4年(2022年)2月15日(火)
入 学 手 続	令和4年(2022年)2月21日(月)

★新型コロナウイルス感染症による日程変更等について★

新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大状況によって、本要項の記載とは異なる日程、方法等で選抜を実施することがあります。変更となる場合は決定次第、ホームページで公表いたします。

鹿 児 島 大 学

目 次

	頁
インターネット出願について・入試成績開示を希望する方へ	1
大学憲章	2
教育目標・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	3
I 募集人員，対象となる高等学校の学科等及び推薦人員	20
II 出願要件及び推薦要件	21
III 入学者選抜方法	22
IV 入学者選抜の実施教科・科目等について	25
V 採点・評価基準	35
VI 合否判定基準	37
VII 出願手続	39
VIII 受験上の注意	44
IX 教育学部の実技検査等	46
X 合格者発表	46
XI 入学手続	47
XII 他の選抜への出願等について	48
XIII 個人情報の取扱いについて	48
XIV 入試情報開示	49
XV 障害のある入学志願者の事前相談	50
XVI 学生寮，入学料免除制度，入学料徴収猶予制度，授業料免除制度及び奨学金等	51

インターネット出願について

鹿児島大学では、インターネットによる出願手続を行っています。学生募集要項の「出願手続」のページをよく確認し、以下の流れにそって、出願情報の登録を行った後、入学検定料及び成績開示請求手数料（以下「入学検定料等」という。）の支払いを済ませたうえで、出願書類を鹿児島大学へ送付してください。

インターネット出願の流れ

STEP 1 選抜区分の 確認

学生募集要項で、受験希望の学部・学科等の出願条件・検査科目・出願期間や検査日等を確認してください。

※事前に準備が必要な書類もありますので必ずご確認ください。



STEP 2 出願情報の 登録

パソコン又はスマートフォンから本学ホームページ「入試案内」の「インターネット出願について」にアクセスし、注意事項等をよくご確認ください。ネット出願登録サイトより出願情報の登録を行ってください。

※登録内容：選抜区分/志望学部・学科等/氏名・連絡先等の個人情報 など



STEP 3 入学検定料等 の支払い

入学検定料等の支払い方法を選択し、期限までにお支払いください。

※支払方法：クレジットカード/ネットバンキング/コンビニ/ATM(ペイジー)

※支払い手順の詳細は本学ホームページをご確認ください。

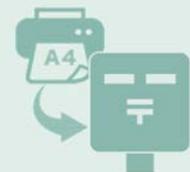
(URL : <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html>)



STEP 4 出願書類の 印刷と郵送

出願確認票・宛名ラベルを、ネット出願サイトの「申込確認」画面からA4で印刷し、各種必要書類とともに宛名ラベルを貼った角2封筒に入れて、鹿児島大学へ出願期間に間に合うように郵送してください。

※複数の選抜区分に出願する際は必ず区分ごとに封筒を分けてください。



出願期間

本学で出願書類の受付を行います。

※受付状況はネット出願サイトの「申込確認」画面で確認可能です。書類の受理後は「受付状況：受付済」と表示されます。

検査前

学生募集要項に記載の受験票印刷可能日時以降に、「申込確認」画面から受験票を各自で印刷し、検査当日に必ず持参してください。

※受験案内も必ずご確認ください。

入試成績開示を 希望する方へ

入試成績開示はオンライン上で行います

- ☑ 入試成績開示請求は出願時の登録及び成績開示請求手数料の払い込みが必須です。出願後の開示請求はできませんのでご注意ください。
- ☑ 成績開示専用サイトへのログインの際に受験番号・生年月日・出願時に発行されるセキュリティコードが必要となりますので、紛失しないようご注意ください。



インターネット出願に関する各種情報は「鹿大ホームページ」及び「鹿大公式LINE」で随時お知らせしますので確認してください。

URL : <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html>



鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教 育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研 究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を^{いしづえ}礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

2007年11月15日 制定

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

鹿児島大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

鹿児島大学は、教育目標に定める人材を育成するため、次のような学生を求めています。

1. 鹿児島大学の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人
2. 人間としてのモラルを大切にし、教養をより高めようとする人
3. 知的向上心に富み、専門職業人として社会に貢献することをめざす人
4. ボランティアやインターンシップをはじめ、広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

このような学生を適正に選抜するために、学部の募集単位ごとに、多様な選抜を実施します。

各学部・学科等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）【学校推薦型選抜Ⅱ】

法文学部

教育目標

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
- (2) 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
- (3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
- (4) 大学で自分の将来および可能性を探究する意欲のある人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

入試で課されている教科を中心とした幅広い基礎学力

- (1) 国語の基礎学力
- (2) 外国語の中でも特に英語の基礎学力
- (3) 地歴・公民における社会科学の基礎知識
- (4) 数学の基礎学力
- (5) 理科における自然科学の基礎知識
- (6) その他学科の特色に応じて求められる能力

3 入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストでは幅広い基礎学力が身につけているかどうかを判定します。

個別学力検査では学科ごとの教育内容と入試の特色に応じて必要な意欲・関心につき判定します。

【法経社会学科】

教育目標

法経社会学科は、社会科学に関する基礎的体系的な知識を修得し、幅広い視野の下で身につけた法学、社会学、経済学などの社会科学の素養を、地域の問題発見と課題解決に積極的に活用できる人材の育成を目標としています。

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 社会科学の幅広い知識の修得を目指している人
- (2) 地域社会や国際社会における問題発見とその問題解決に関心のある人
- (3) 社会の抱える問題に強い関心をもち、主体的に学習する姿勢をもっている人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語・英語の学習による読解力および表現力
- (2) 社会科学を学ぶ上で必要な地理歴史・公民、理科の基礎知識
- (3) 数学の基礎学力とその学習による論理的思考能力

入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストを課すとともに、個別学力検査として、法学コースでは、「面接」、地域社会コースおよび経済コースでは、「小論文および面接」（商業科・総合学科）または「小論文」（全学科）を課します。法学コースでは、学習意欲、社会の諸問題に対する高い関心、基礎的な表現力を有している入学者を選抜します。地域社会コースおよび経済コースでは、広く社会の諸事象に対して関心をもち、読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

〈法学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 社会の仕組みや外国語を学ぶうえで必要な基礎学力に加え、地歴・公民分野における高等学校教科書レベルの知識を備える人
- (2) 法学および政治学の専門的知識の体系的な学習とともに、外国語および多様な学問分野を横断した幅広い知識の修得に意欲のある人
- (3) 問題発見・解決能力を踏まえて、実践的な法解釈力、政策立案能力を向上させ、国際知識を修得することに意欲がある人
- (4) 社会規範を尊重し、地域・社会貢献に意欲がある人
- (5) 法および政治に関わる社会的問題について強い興味と関心をもち、主体的に継続して学習できる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による読解力と表現力
- (2) 地歴・公民や理科の学習による、法学・政治学・政策学を学ぶ上で必要となる基礎知識
- (3) 数学の学習による論理的思考能力
- (4) 日常的に新聞や書籍を読むことによる高い社会的関心

入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストでの幅広い基礎学力を測ることと併せて、個別学力検査では面接試験を課し、学習意欲、社会の諸問題に対する高い関心、基礎的な表現力を測ることに加えて、出身高等学校の調査書、高等学校長の推薦書および自己推薦書を総合的に判定します。

〈地域社会コース・経済コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

地域社会コース・経済コースは、国際化の進展に伴い複雑化・多様化する経済社会のなかで地域社会からの要請に応えることができる人材の養成を教育目標にしています。具体的には、情報を創造的に活用し、地域的・国際的な視野から問題を発見し解決することのできる人材を求めています。

- (1) 高等学校までの基礎的な学習内容をしっかりと修得している人
- (2) 地域的および国際的な社会・経済問題に対して常に関心をもち、解決しようという意欲のある人
- (3) 新しい課題に積極的に取り組み、自らを成長させようという意欲のある人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語・英語の読解力・表現力
- (2) 地理歴史・公民、理科の基礎知識
- (3) 数学の基礎学力

入学者選抜の基本方針

「商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科」を対象とする学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストのほかに小論文および面接を課し、「全学科」を対象とする学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストのほかに小論文を課すことによって、広く社会の諸事象に対して関心をもち、読解能力や説明能力の優れた入学者を選抜します。

【人文学科】

教育目標

地域および世界の多様な文化、歴史、環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる人材、人間の心と行動への深い造詣に基づき、心理的支援によって地域に貢献できる人材、心理学の知見を活用し産業・行政分野で貢献できる人材の養成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境や人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力や論理的思考力、批判的分析力を備えている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識
- (3) 数学の学習による数理的処理の基礎

入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱにおいては、地域および世界の諸文化や心理学に強い関心を持ち、柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えているかという点を重視し、大学入学共通テスト、面接、小論文、出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

〈多元地域文化コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 日本を含む世界各地の文化・歴史・環境について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力や論理的思考力、批判的分析力を備えている人
- (4) 社会や歴史、思想、文化、環境に関する基礎知識を幅広く習得している人
- (5) 数理的処理の基礎を学んでいる人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 地理歴史や公民、理科の学習による社会や歴史、思想、文化、環境に関する幅広い基礎知識
- (3) 数学の学習による数理的処理の基礎

入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱにおいては、地域および世界の諸文化に強い関心を持ち、柔軟な発想力と、適切な論理の展開能力、表現力を備えているかという点を重視し、大学入学共通テスト、小論文、出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

〈心理学コース〉

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

- (1) 人間の心と行動について学ぶ強い意欲を持つ人
- (2) 互いを尊重し思いやる心と高いコミュニケーション能力を備えている人
- (3) 学習する上で必要となる言語能力や思考力、および基礎的学力を備えている人
- (4) 事象を論理的に考察し数理的に処理する能力を備えている人
- (5) 社会や歴史、思想、文化、環境、科学に関する基礎知識を幅広く習得している人

入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 国語と外国語の学習による言語能力や論理的思考力、批判的分析力
- (2) 数学の学習による数理的処理の基礎

- (3) 地理歴史や公民，理科の学習による社会や歴史，思想，文化，環境に関する幅広い基礎知識
- (4) 「総合学習」や「問題解決型学習」による問題解決や探究活動に主体的，創造的，協同的に取り組む態度

入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱにおいては，心理学に強い関心を持ち，柔軟な発想力と論理的思考力，高いコミュニケーション能力を備えているかという点を重視し，大学入学共通テスト，面接，出身高等学校の調査書の成績を総合して選抜します。

教育学部

教育目標

鹿児島大学の教育目標や教育学部の目的をうけて，教育学部では，次のような人材の育成を目標とする。

学校教育を取り巻く諸課題に対して，理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教育者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

教育学部では，「学校教育を取り巻く諸課題に対して，理論的かつ実践的に探求することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教育者」の育成を目的としています。このようなことから，次のような人を求めています。

- (1) 幼稚園，小学校，中学校，高等学校や特別支援学校等の教員になりたいという志望が強く明確な人
- (2) 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
- (3) 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
- (4) 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
- (5) 自分の人間性を高めるために，たゆまず持続的に努力する人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

学校教育に関わる教員は，専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められています。また，本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため，入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 学校教育の教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 学校現場での実習に際し，児童・生徒の模範となれる規範意識
- (3) 規則正しい生活習慣
- (4) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (5) 身近な事柄を知識と結びつける能力や，他者と協働する姿勢

3 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は，大学入学共通テストの成績，面接，実技及び調査書の成績の総合得点により行い，高等学校で学んだ学力を重視し，教育に貢献する意志と情熱をもちコミュニケーション能力豊かな人を評価します。

【学校教育教員養成課程】

教育目標

〈初等教育コース・中等教育コース〉

学校教育教員養成課程では，教職に関する高度な専門性と優れた実践的指導力を有し，次世代を担う児童・生徒の育成に貢献できる教員の育成を教育目標にしている。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

〈初等教育コース・中等教育コース〉

人間を取り巻く物理的・社会的環境の急激な変化やますます多様化する価値観の変化のなか、学校教育の場で活躍しようとする教員にはこれまでも増して幅広い視野と高度の専門性が求められています。学校教育教員養成課程〈初等教育コース・中等教育コース〉においては、学校教育における各教科等に対応する種々の専門分野のいずれか1つに対する高度の専門性を身につけると同時に、広く社会を見渡す確かな視座と学習者の多様なニーズに可能な限り応えられる、幅広く確かな教養の両方を備えていることが強く求められます。したがって、学校教育教員養成課程〈初等教育コース・中等教育コース〉では、次のような人を求めています。

- (1) 子供と関わることを好み、「教育」の問題に情熱を注げる人
- (2) 自分の得意とする専門分野に高い関心を持ち、学校教育に関連して、その分野における知見や技術の一層の高度化に高い意欲をもつ人
- (3) 人間生活全般への鋭い問題意識を持ち、子供の発達に対する援助者、文化の確かな伝達者として子供や自分自身の可能性を高めることに力を発揮できる人
- (4) 自分の得意分野だけでなく、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等、学校教育の教員としての実践的指導力に関わる幅広く確かな基礎学力を有している人

〈初等教育コース〉

(初等教育コース 一般)

初等教育コース 一般では、次の4つの条件をすべて満たす人を求めています。

- (1) 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
- (2) 初等教育に強い関心のある人
- (3) 十分な基礎学力と広く一般的な知識を有する人
- (4) 論理的な思考力と児童や周囲の人々とのコミュニケーション能力をもつ人

(初等教育コース 音楽)

初等教育コース 音楽では、次の4つの条件をすべて満たす人を求めています。

- (1) 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
- (2) 音楽の教育に強い関心のある人
- (3) 十分な基礎学力と広く一般的な知識、合わせて音楽的活動の実績を有する人
- (4) 豊かな音楽的感性とコミュニケーション能力をもつ人

(初等教育コース 保健体育)

初等教育コース 保健体育では、次の4つの条件をすべて満たす人を求めています。

- (1) 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
- (2) 体育の教育に強い関心のある人
- (3) 十分な基礎学力を有し、スポーツ活動において優れた能力をもつ人
- (4) 論理的な思考力と児童や周囲の人々とのコミュニケーション能力をもつ人

〈中等教育コース〉

(中等教育コース 国語)

中等教育コース 国語では、次の4つの条件をすべて満たす人を求めています。

- (1) 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
- (2) 言語コミュニケーション及び国語教育に対する強い関心をもつ人
- (3) 十分な基礎学力と広く一般的な知識とを有する人
- (4) 文献資料の読解を通じて自ら学ぼうとする姿勢、論理的な思考力と表現力をもつ人

(中等教育コース 社会)

中等教育コース 社会では、次の4つの条件をすべて満たす人を求めています。

- (1) 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
- (2) 社会科、地理歴史科、公民科及びそれらの教育に強い関心のある人
- (3) 文献や史料の読解、フィールド調査に積極的に取り組む姿勢をもつ人
- (4) 論理的な思考力とコミュニケーション能力をもつ人

(中等教育コース 英語)

中等教育コース 英語では、高等学校の成績が優秀で、次の4つの条件をすべて満たす学生を求めています。

- (1) 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
- (2) 言語コミュニケーション及び英語（外国語）教育に対する強い関心をもつ人
- (3) 十分な基礎学力と広く一般的な知識を有する人
- (4) 論理的な思考力とコミュニケーション能力をもつ人

(中等教育コース 数学)

中等教育コース 数学では、次の4つの条件をすべて満たす人を求めています。

- (1) 将来教員になろうという強い意志と熱意のある人
- (2) 算数・数学の教育に強い関心のある人
- (3) 論理的な思考力とコミュニケーション能力のある人
- (4) 数学を自主的に学ぶ努力を持続できる人

(中等教育コース 理科)

中等教育コース 理科では、身の周りの自然現象を科学的にとらえる力を持ち、それを教育に生かせる人材の育成を目指しています。したがって、将来教員を目指す意志と熱意を持ち、十分な基礎学力を有していることに加えて、以下の条件を満たす人を求めています。

- (1) 論理的な思考力の素地を有している人
- (2) 十分なコミュニケーション能力の素地を有している人
- (3) 実験・観察に積極的に取り組む意思を有している人
- (4) 常に創意・工夫する意欲を有している人

(中等教育コース 美術)

中等教育コース 美術では、絵画、彫塑、デザイン、工芸、美術理論及び美術史、美術教育学の各領域の理論的な研究や実践的な制作活動を通して、美術及び美術教育のあり方について探求しています。

そのため、次のような人を求めています。

- (1) 将来、美術の教員になる強い意志があり、美術の楽しさを児童・生徒に伝えたい人
- (2) 美術への興味・関心が高く、美術の各領域において専門性を深めていく意欲のある人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

〈初等教育コース・中等教育コース〉

本課程は、小学校教員一種免許状または中学校教員一種免許状を取得し、将来教育に携わる人材の育成を目的としています。在学中に教育に関する様々な知識・技能を学ぶとともに、附属学校等において児童・生徒や教員と関わる機会が多くあります。そのため、入学に際して以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 学校教育の教員として必要な専門知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
- (3) 規則正しい生活習慣
- (4) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (5) 多様な課題に自律的に取り組む姿勢

3 入学者選抜の基本方針

学部の入学者選抜の基本方針を参照

理学部

教育目標

理学部は多様な科学的問題に対応できる幅広い課題探求能力の育成を図ることを目標とし、次のような人材の育成を目指します。

- (1) 創造的で指導的な役割を担う専門的職業人として活躍できる人材
- (2) 未知の課題に挑戦する研究者・技術者として活躍できる高度な研究能力を有する人材

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 自然科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人
- (2) 課題の発見と解決に積極的に取り組み、知的好奇心や探究心の旺盛な人
- (3) 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語等の基礎学力に加えて、理学科で必要とされる数学と理科の高い学力を身に付けてください。分からないことがあれば積極的に調べ、それでも分からないときは質問する習慣を身に付けてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などの様々な体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストによって基礎学力が身に付いているかを判定し、個別学力検査等で面接を課し、志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて判定します。

【化学プログラム】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 化学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人
- (2) 課題の発見と解決に積極的に取り組み、知的好奇心や探究心の旺盛な人
- (3) 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力に加えて、化学プログラムで行われる専門教育を理解するために数学、化学を中心に、生物学及び物理学など自然科学に関する高い学力を身に付けておいてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などの様々な体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身に付けておいてください。

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストによって基礎学力が身に付いているかを判定し、個別学力検査で面接を課し、志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて判定します。

【生物学プログラム】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 生物学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人
- (2) 課題の発見と解決に積極的に取り組み、知的好奇心や探究心の旺盛な人
- (3) 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

2. 入学前に身に付けておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力に加えて、生物学プログラムで行われる専門教育を理解するために数学、化学、生物学を中心に自然科学及び物理学に関する高い学力を身に付けてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などの様々な体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストによって基礎学力が身に付いているかを判定し、個別学力検査で面接を課し、志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて判定します。

【地球科学プログラム】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

- (1) 地球科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人
- (2) 広い学問的視野と適応性を兼ね備えて、課題の発見と解決に積極的に取り組むことのできる人
- (3) 地球科学に対する強い関心と高い学習意欲を持つ人
- (4) 室内での実験・観察や、野外調査に興味を持つ人

2. 入学前に身に付けておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語・外国語等の基礎学力に加えて、数学及び理科の高い学力を身に付けてください。分からないことがあれば積極的に調べ、それでも分からないときは質問する習慣を身に付けてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などの様々な体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストによって基礎学力が身に付いているかを判定し、個別学力検査で面接を課し、志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて判定します。

医学部

教育目標

医学部は、全人的医療を实践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目的とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 思いやりのある人
- (2) 幅広い基礎知識を有する人
- (3) 人の生命や社会に深い関心をもつ人
- (4) 探究心があり、物事に積極的に取り組む人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 基礎的な学力
- (2) コミュニケーション能力
- (3) 医療への関心
- (4) 人を思いやる心
- (5) 物事に対する責任感
- (6) 探究心
- (7) 論理的な思考力

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、医学科は大学入学共通テストおよび面接により、基礎学力ならびに適性を判定

します。

【医学科】

教育目標

医学科は、以下の能力をともに有した人材を育成します。

- (1) 人を尊重し、人と地域社会のため最善の医療を実践する優れた臨床医
- (2) 科学的思考力を有し、生涯学習し、医学、医療及び社会の発展に貢献する医師及び医学研究者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

高校で学ぶ理科，数学，外国語，国語，社会の基礎学力と学校と社会生活の中で養った資質として、

- (1) 自然界や人間社会についての幅広い基礎学力と問題解決力
- (2) 医療や医学，生命科学などに対する関心
- (3) 地域や国際社会への関心と社会に貢献する意欲
- (4) 互いを尊重し，思いやりいたわる心
- (5) 話を正確に聞き，自分の意見を論理的に伝える能力
- (6) 学習意欲があり，自主的に学習する力と習慣

を備えている人。

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語，数学，理科，社会，外国語などの幅広い基礎学力のほか，保健体育，芸術，技術家庭などの教養，特に理科，英語の高い知識・能力が必要となります。また，総合学習や問題基盤型学習を行う能力を身につけておくことも必要です。

3 入学者選抜の基本方針

高校の学習の到達度は，大学入学共通テストで評価します。その他の必要とする資質・能力は，面接で評価します。また，鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱も評価します。

歯学部

教育目標

歯学部は「歯科医療人である前に良識豊かな人間であれ」という理念のもとに，下記の教育目標を達成します。

- (1) 全人的歯科医療を実践しうる歯学分野における幅広い知識と創造性に富む歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
- (2) 地域医療に貢献しうる幅広い識見と人間性豊かな使命感にあふれる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成
- (3) 国際社会においても卓越した貢献をなしうる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 生命への強い関心，人間としてのモラル，奉仕精神にあふれる人
- (2) 歯科医学の知識や技能を十分理解・修得できる基礎学力のある人
- (3) 歯科医学に興味を持ち，科学的探究心の豊かな人
- (4) 幅広い視野と柔軟な感性を持ち，常に考え行動する資質のある人
- (5) 歯科医療人として社会に貢献しようとする強い意欲を持つ人

さらに，学校推薦型選抜Ⅱによる入学者として，歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ人を望んでいます。

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語，数学，理科，地歴，公民，英語などの幅広い基礎学力のほか，特に数学，理科，英語の高い知識・能力

3 入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストでは、幅広い基礎学力が身についているかどうかを判定します。個別学力検査等では、教育内容と入試の特色に応じて必要な学力や意欲・関心・適性に基づき判定します。

工学部

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は、高度な専門職業人の養成教育において、ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し、困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士（工学）」の育成を目指します。そのため、次の教育の目標を掲げます。

- (1) 「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に、幅広い教養と高度な専門能力を育みます。
- (2) 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより、人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。
- (3) 高度な工学技術や知識を、実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。
- (4) 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき、自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。
- (5) 社会的な責任を担いつつ、グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

工学部は、本学部の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

- (1) 工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に各学科の各プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストに加え、個別学力検査で面接などを課し、高校の調査書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。

【先進工学科】

教育目標

工学部の教育目標を受けて、イノベーション創出の素養を持った人材の育成のために、次の教育目標を掲げます。

- (1) 技術者の使命感と倫理観を持って工学の諸課題に挑戦する能力を養います。
- (2) 工学分野全体を把握し、幅広い視野で諸課題を解決する能力を養います。
- (3) 専門分野の基礎知識を体系的に修得することにより、基礎的学力、論理的思考力を養います。
- (4) 複数分野の融合領域を修得することにより、イノベーション創出のための先進性を培う創造的思考力を養います。
- (5) 高度情報化社会を生き抜くための情報基盤力を養います。
- (6) 地域社会及び国際社会において活躍し続けるためのコミュニケーション力、デザイン力、生涯学習力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

先進工学科は、本学科の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

1 求める人材像

- (1) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有し、主体的に学修する意欲がある人

- (2) イノベーション創出のための技術開発に挑戦したいという情熱を持っている人
- (3) 工学のものづくりに興味を持ち、創造力、技術力で地域社会や国際社会に貢献する夢をもつ人
- (4) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人

2 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に各プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストに加え、個別学力検査で面接などを課し、高校の調査書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。

【先進工学科 機械工学プログラム】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するため、以下を教育目標にしています。

- (1) 人類の幸福と福祉、エネルギーと環境、人間と社会などの調和を洞察できる能力を身に付けます。
- (2) 国際的な場で活用できる外国語の基礎的な能力を身に付けます。
- (3) 数学や自然科学の基礎の基に、工学的基礎に関する知識を身に付けます。
- (4) 機械工学の基礎学力を修得し、それらを問題解決に活用できる能力を身に付けます。
- (5) 機械工学の知識を総合的に応用して、工学的問題を自主的に分析し解決するデザイン能力を身に付けます。
- (6) 調査、討論、発表などを通じて自らの課題を発見し、それを解決する能力を身に付けます。
- (7) 自己の能力を主体的に生涯にわたって継続して向上できる能力を身に付けます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

機械工学プログラムでは、次世代を担う技術者・研究者の育成を目指しており、次のような人を国内外から広く求めています。

- (1) 機械工学プログラムの学位授与の方針を達成できる基礎学力を有し、論理的・物理的思考に対する素養がある人
- (2) 機械工学に大いに興味があり、真摯に学ぼうとする意欲、向上心・探究心にあふれる人
- (3) 高等学校生活等で培われた精神力と協調性があり、科学的発想などに豊かな感性がある人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語（英語）などの基礎学力のほか、中でも機械工学プログラムの専門教育に対応できる数学、理科（特に物理）の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストに加え、調査書及び面接の結果に基づいて、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる基礎学力を評価します。

【先進工学科 電気電子工学プログラム】

教育目標

工学部の教育目標を受けて、電気電子工学プログラムでは次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

- (1) 基盤となる基礎教育を身につけ、発展的に将来の科学技術の進展に柔軟に対応する能力を養います。
- (2) 地球環境に配慮した高度情報化社会の基盤を支え、科学技術の発展と人類の幸福に貢献できる広範かつグローバルな思考力を養います。
- (3) 電気電子工学に関する知識に基づいて、論理的な思考、技術の応用と創造、問題の発見と解決ができる能力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材

電気電子工学プログラムでは、次のような向学・研究心あふれる人を求めています。

- (1) 電気電子工学プログラムの教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力・意欲をもつ人
- (2) 研究・応用分野での最先端の知識・実践力を身につけ、社会で活躍したい人
- (3) 国際的コミュニケーション能力を身につけ、国際的に活躍したい人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に電気電子工学プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、普通科あるいはこれに準ずる学科を対象とし、大学入学共通テストで3教科4科目（数学Ⅱ・数学B、物理・化学・生物・地学から2科目選択、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語から1科目選択）、個別学力検査で面接などを課し、高等学校の調査書を含め、培ってきた数学・物理・外国語の基礎能力、電気電子工学を学ぶ上で必要な基礎的事項に関する理解力、論理的思考力、学習意欲、目的意識について評価し選抜します。

【先進工学科 海洋土木工学プログラム】

教育目標

海洋土木工学プログラムは、以下に示す幅広い視野と高い倫理観及び海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材（技術者・研究者）を養成することを目的としています。そのため、次の教育目標を掲げます。

- (1) 人類の幸福と福祉について考えることのできる能力を養成します。
- (2) エネルギーと環境、人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力を養成します。
- (3) 地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力を養成します。
- (4) 数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力を養成します。
- (5) 土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし、持続的な社会の発展に貢献できる能力を養成します。
- (6) 海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力を養成します。
- (7) チームによる調査・討論・発表などを通じて、地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決できる能力を養成します。
- (8) 卒業後も主体的に学習を継続できる能力を養成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

海洋土木工学プログラムは、海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材の育成をめざしています。このような観点から、本プログラムでは次のような学生を求めています。

- (1) 高等学校で学ぶ数学・理科などの基礎学力を十分にもち、論理的思考の好きな人
- (2) 持続可能な国土・海洋の開発と保全に関する話題に関心をもち、関連分野で活躍したい人
- (3) 自然環境と人間社会との調和・共生に関わる技術開発に興味と情熱をもつ人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に海洋土木工学プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストに加え、個別学力検査で面接を課し、高校の調査書を含め、専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識と基礎学力、海洋土木工学への興味と学習意欲などを評価し選抜します。

【先進工学科 化学工学プログラム】

教育目標

工学部の教育目標を受けて、化学工学プログラムでは次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

- (1) 人類の持続可能な共生社会創出のため、国際的視野から多様な地域社会に寄与できる豊かな人間性、社会性、高い倫理観をもつ人材を養成します。
世界的な視点から文化・自然環境・地域社会を多面的に考え、より豊かで持続可能な人類社会の創出に寄与する科学技術の役割とその倫理的責任を良く理解した技術者・研究者を養成します。
- (2) 自然科学の基礎知識と教養、および確かな化学工学専門知識に基づく設計と応用によって人類社会に貢献できる人材を養成します。
自然・数理科学及び技術に関する基礎知識と化学及びその関連分野の専門技術に関する応用能力を涵養し、専門技術者として工学的諸問題を解決できる技術者・研究者を養成します。
- (3) チーム内での役割を制約下で果たし、地域の文化や風土および産業と調和した工学技術をデザインできる人材を養成します。
多様な地域社会の文化・風土・産業をよく理解し、それらと調和した化学工学技術を与えられた制約内で設計し、チーム内での役割を果たせる能力を備えた技術者・研究者を養成します。
- (4) 国際的な情報交換と協調および生涯にわたる自己研鑽によって、社会の要請する新技術の開拓に積極的に貢献できる人材を養成します。
科学や技術の進歩に対応して自発的に研鑽し生涯学習に努め、多くの専門分野の人々と日本語ならびに英語による文書・口頭あるいは情報メディア等による基本的かつ効率的なコミュニケーションができる技術者・研究者を養成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

化学工学プログラムではアドミッションポリシー（入学者受入方針）として、本プログラムの教育目標の観点から、化学、物理、数学、英語についての基礎的能力を有している次のような学生を求めています。

- (1) 環境と調和した社会の創出に共感し、それを実現するための科学の基礎知識と意欲をもつ人
- (2) 化学工学的視野から公共の福祉や持続可能な人類社会の創出に自主的、継続的に貢献する意欲のある人
- (3) コミュニケーション力や協調性を養い、世界に視野を向けて様々な問題に取り組むことに関心のある人
- (4) 化学工学の専門技術を身につけ、高い倫理観をもって研究開発を通して地域社会へ寄与することをめざす人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に本プログラムの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストの成績、高校在学時の成績、学習意欲、目的意識、適性などを評価し選抜します。

【先進工学科 化学生命工学プログラム】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

- (1) 豊かな人間性と社会性による倫理観を備え、国際的視野のもと、自然・環境の摂理と諸科学の基礎知識を吸収して共生する能力を養成します。
- (2) 数学、工学基礎や情報処理技術及び化学工学に関する基礎知識と能力を養成します。
- (3) 化学と生物の知識を柔軟に駆使し、新材料やバイオ技術、薬の創製と評価に生かせる能力を養成します。

- (4) 日常的・国際的コミュニケーション能力を養成します。
- (5) フレッシュマンセミナー、学生実験、演習、卒業研究・講座ゼミ、学外実習・工場見学等を通じ、与えられた要求に対して、知識・技術を駆使して総合的に判断し、実現可能な解決方法を提案できるデザイン能力を養成します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

化学生命工学プログラムでは、化学の知識を役立てることにより、地球環境や生命との調和を図りつつ人類社会の持続的発展に寄与できる人材の育成をめざしています。特に化学・生物についての十分な学力を有し、勉学意欲があり、広範な視野と柔軟性を備え、積極性に富む次のような学生を求めています。

- (1) 新物質や機能材料の創製に意欲のある人
- (2) バイオテクノロジーに興味をもち、医薬や医用材料の創製に意欲のある人
- (3) 分析や化学計測に関心をもつ人
- (4) 環境保全やエネルギーなどに興味をもつ人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストに加え、個別学力検査で面接を課し、高校の調査書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。

【先進工学科 情報・生体工学プログラム】

教育目標

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

- (1) 技術者の使命と倫理
豊かな人間性と社会性を備え、自然科学、工学および情報技術の発達が社会と自然におよぼす影響と技術者の責任についてグローバルな視点から理解し、考えられる人材
- (2) 基礎学力
情報・生体工学の基礎となる数学、物理学や情報システム基礎などの基礎学力を身につけ、その知識を問題解決のために応用できる人材
- (3) ソフトウェアの知識と応用力
プログラミング、ソフトウェア工学とその関連分野の理論と応用を学び、プログラミング能力とソフトウェア開発のための能力を持つ人材
- (4) 情報システムの知識と応用力
計算機システム、情報ネットワークとその関連分野の理論と応用を学び、システムを構築できる人材
- (5) 情報・生体工学の専門知識と応用力
情報システムや認知・生体システムにおけるより専門性の高い知識と応用を学ぶことができる人材
- (6) コミュニケーション能力
正しい日本語による論理的記述力、発表能力、コミュニケーション能力や、英語による基本的なコミュニケーション能力を持つ人材
- (7) デザイン能力
現状分析と問題点抽出のための情報収集能力や自主的で継続的な学習姿勢と、解決に至る計画を自ら立案し遂行できる人材

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

情報・生体工学プログラムは、本プログラムの教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

- (1) 情報・生体工学プログラムの学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に情報・生体工学プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストおよび高校の調査書に加え、個別学力検査で面接を課し、大学での情報工学・生体工学の先端技術を学ぶ上で必要となる基礎知識と理解力、表現能力、勉学意欲等を評価し選抜します。

【建築学科 建築学プログラム】

教育目標

建築学科では、工学部の教育目標を受けて、包括的な教育を基盤とした建築学総合プログラムとして、次の具体的な教育目標を掲げています。

- (1) 建築技術者としての使命感と倫理観を持ち、幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力を養います。
- (2) 建築における基本的な考え方を理解し、工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力を養います。
- (3) 新しい建築文化や建築技術の創造へつながらる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して、創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養います。
- (4) 地域社会及び国際社会の建築に関する場で活動できる情報発信力、コミュニケーション力、及びチームで仕事をすることができる能力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める人材像

建築の役割は、個々の建物から都市までを対象として、学術と技術と芸術の3つの面を融合して、人々に快適な空間を創造することです。建築学科では、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力を有し、建築と科学と芸術及び社会の広い分野に関心を持つ次のような学生を求めています。

- (1) 建築を造りたいという情熱を持っている人
- (2) 建築に関する自然科学・人文社会科学・芸術の分野に幅広く関心を持ち、自らの強みを活かし主体的に学修する意欲がある人
- (3) 建築と人間や社会、環境との関係に興味がある人
- (4) 建築デザインの分野で素養を活かしたいと考えている人
- (5) 安全で美しく快適な建築を造る技術に関心のある人
- (6) 建築士などの資格を取得し、地域社会や国際社会に貢献する夢をもつ人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、建築学科での専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜Ⅱでは、(ア)文系科目重視型、(イ)理系科目重視型、(ウ)実技試験型の3つの募集枠を設けています。大学入学共通テストに加え、個別学力検査として(ア)(イ)は面接を、(ウ)は空間を構成する造形物の制作とそれに関する描画を行う試験を課し、高校の調査書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。

共同獣医学部

【獣医学科】

教育目標

国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成し、幅広い見識と倫理観を持って人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い、問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで、地域に根ざすとともに社会のニーズに対応した、人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出することを教育目標としています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

共同獣医学部では、発展・進化する獣医科学に取り組む知識欲と探求心、これを実践・活用する論理性と創造力、及びチーム活動と共生社会形成のためのコミュニケーション能力の素養を備えた、次のような学生を求めています。

- (1) 獣医師の幅広い職責について理解し、獣医学を志す明確な目的意識を有する人
- (2) 自然科学、人文・社会科学及び語学に関する基礎教科を満遍なく学習し、獣医学の知識や技術を十分に理解、修得するための基礎学力を身につけている人
- (3) 人と動物の健全な共生社会実現のために積極的に取り組む意思を有し、社会的にコミュニケーションがとれる人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

大学入学共通テストで課す教科・科目における十分な基礎学力と思考力が必要になります。また、小論文及び面接においては自分の考えを明確に表現する能力を身につけておく必要があります。

3 入学者選抜の基本方針

高等学校の学習成績概評がA以上の者について、大学入学共通テストで5教科7科目を課すとともに、個別学力検査で小論文及び面接を課し、基礎学力、志望動機、勉学意欲、理解力、分析力、論理的思考力、表現力、適性を評価します。

I 募集人員，対象となる高等学校の学科等及び推薦人員

学 部	学 科 等		募集人員	対象となる高等学校の学科等	高等学校からの 推 薦 人 員	
法文学部	法経 社会 学科	法学コース	10人	全学科	各校から2人以内	
		地域社会 コース・ 経済コース	7人	商業科あるいはこれに準ずる学科，も しくは総合学科	各校から2人以内	
			30人	全学科	各校から2人以内	
	人文 学科	多元地域文化コース	25人	全学科	各校から2人以内	
		心理学コース	8人	全学科	各校から2人以内	
教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	初等教育 コース	一般	10人	全学科	各校から2人以内
			音楽	5人	全学科	各校から2人以内
			保健体育	9人	全学科	各校から3人以内
	中等 教育 コース	国語	3人	全学科	各校から2人以内	
		社会	2人	全学科	各校から2人以内	
		英語	2人	全学科	各校から2人以内	
		数学	2人	全学科	各校から2人以内	
		理科	3人	全学科	各校から2人以内	
		美術	2人	全学科	各校から2人以内	
理 学 部	理 学 科	化学プログラム	7人	全学科	各校から2人以内	
		生物学プログラム	7人	全学科	各校から2人以内	
		地球科学プログラム	6人	全学科	各校から2人以内	
医 学 部	医学科	18人	全学科	各校から5人以内		
歯 学 部	歯学科	8人	全学科	各校から3人以内		
工 学 部	先 進 工 学 科	機械工学プログラム	10人	全学科	各校から2人以内	
		電気電子工学プログラム	8人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から2人以内	
		海洋土木工学プログラム	2人	高等学校設置基準第5条第2号に規定 する「専門教育を主とする学科」のう ち職業教育を主とする学科及び同条第 3号に規定する総合学科※1	各校とも各専から 2人以内	
			8人	普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から2人以内	
		化学工学プログラム	6人	全学科	各校から2人以内	
		化学生命工学プログラム	8人	全学科	各校から2人以内	
		情報・生体工学プログラム	4人	高等学校設置基準第5条第2号に規定 する「専門教育を主とする学科」のう ち職業教育を主とする学科及び同条第 3号に規定する総合学科※1	各校から2人以内	
	10人		普通科あるいはこれに準ずる学科	各校から2人以内		
	建 築 学 科	建 築 学 プ ロ グ ラ ム	ア 4人※2	全学科	各校から2人以内	
			イ 4人※3	全学科	各校から2人以内	
ウ 3人※4			全学科	各校から2人以内		
共同獣医学部	獣医学科	2人	全学科	各校から2人以内		

(注) 学校推薦型選抜Ⅱと総合型選抜（自己推薦型選抜）の併願はできません。

(注) 学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科を除く）の合格者が募集人員に満たない場合は，その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。（教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽及び保健体育の合格者が募集人員に満たない場合は，その欠員は，一般選抜（前期日程）の初等教育コース（一般）の募集人員に加えます。）

※1 総合学科については，履修科目を確認のうえ，判断するので，事前に文書により問い合わせてください。

※2 ア 文系科目重視型，※3 イ 理系科目重視型，※4 ウ 実技試験型

II 出願要件及び推薦要件

次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和4年度（2022年度）大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの所定の教科・科目（26～31頁参照）を受験し、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。）の学業成績・人物が優秀で、更に、高度の学業を修得する熱意と能力を有し、高等学校長（中等教育学校長、高等部を置く特別支援学校の長及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設の長を含む。以下同じ。）が責任をもって推薦できるもの。

なお、過年度の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績については、令和4年度（2022年度）入学者選抜には利用しません。

- 1 対象となる高等学校の学科に在学し、令和4年（2022年）3月卒業見込みの者
ただし、教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術及び理学部理学科は、令和3年（2021年）3月に高等学校を卒業した者及び令和4年（2022年）3月に高等学校を卒業見込みの者
医学部医学科は鹿児島県内の高等学校を卒業した者及び鹿児島県内の高等学校を令和4年（2022年）3月卒業見込みの者
歯学部歯学科は高等学校を令和3年（2021年）3月以降に卒業した者及び令和4年（2022年）3月卒業見込みの者
- 2 合格した場合は、入学することを確約できる者
- 3 次表に掲げる学部・学科等にあつては、次表の推薦要件も満たさなければならない。

学部	学 科 等		推 薦 要 件
法 文 学 部	法 経 社 会 学 科	地 域 社 会 コ ー ス ・ 経 済 コ ー ス	「商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科」を対象として実施するもの 高等学校の学習成績概評がA以上である者 全国商業高等学校協会（全商）の簿記実務検定、情報処理検定のうちいずれかの1級又はそれに相当する資格を取得していることが望ましい。 総合学科については、商業に関する教科・科目を20単位以上修得した（見込みを含む。）者
			「全学科」を対象として実施するもの 高等学校の学習成績概評がA以上である者
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 教 育 コ ー ス	一般 高等学校の調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者
			音楽 高等学校の調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上である者 音楽への興味・関心が高く、勉学意欲があり、更に教員を強く志望する者 発表会やコンクールへの参加歴等（部活動や一般団体での活動を含む）、音楽実技活動の実績がある者
		保健体育 高等学校の調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上で、教員になる意欲と熱意がある者	
	中 等 教 育 コ ー ス	国語 高等学校の学習成績概評がA以上で、教員になる意欲と熱意がある者	
		社会 高等学校の調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者	
		英語 高等学校の調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者	
		数学 数学Ⅲ（理数科は理数数学Ⅱ）を履修していること。高等学校の調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上であること。数学への興味・関心が高く、教員を強く志望する者	
		理科 高等学校の調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上で、教員になる意欲と熱意がある者	
美術 美術への興味・関心が高く、勉学意欲があり、更に教員になる強い意志を有する者			
理 学 部	理 学 科	化学プログラム 化学への興味・関心が高い者	
		生物学プログラム 生物学への興味・関心が高い者	
		地球科学プログラム 地学への興味・関心が高い者	
医 学 部	医 学 科	高等学校の学習成績概評がA以上で、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者 入学後に「鹿児島県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者 ※医師修学資金貸与制度 鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする。 ※鹿児島県キャリア形成プログラム 医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則9年間、鹿児島県が指定するべき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をする。	

(次頁へつづく)

(前頁からつづく)

学部	学科等	推薦要件
歯学部	歯学科	高等学校の学習成績概評がA以上である者 歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ者
共同獣医学部	獣医学科	高等学校の学習成績概評がA以上である者 獣医師になる強い意欲と情熱がある者

Ⅲ 入学者選抜方法

1 選抜方法

学部	学科等	選抜方法	
法文学部	法経社会学科 法学コース	大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。 調査書、高等学校長の推薦書及び自己推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
	地域社会コース・経済コース	商業科等	大学入学共通テスト、小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。 調査書、高等学校長の推薦書及び自己推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		全学科	大学入学共通テスト及び小論文の成績の総合得点に基づいて選抜する。 調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
	人文学科	多元地域文化コース	大学入学共通テスト、小論文及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
	心理学コース	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース	一般	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		音楽	大学入学共通テスト、実技検査、面接及び調査書（音楽実技活動の実績調査書を含む。）の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		保健体育	大学入学共通テスト、面接及び調査書（実技調査書を含む。）の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
	中等教育コース	国語	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		社会	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		英語	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		数学	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		理科	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
	美術	大学入学共通テスト、面接（高等学校長承認印のあるポートフォリオ持参）及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。 高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
理学部	理学科 化学プログラム	大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。 調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
	生物学プログラム	大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。 調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
	地球科学プログラム	大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。 調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
医学部	医学科	大学入学共通テスト及び面接の成績、調査書並びに高等学校長の推薦書を総合判定し、選抜する。	
歯学部	歯学科	大学入学共通テスト及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。 調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	

(次頁へつづく)

(前頁からつづく)

学部	学科等	選抜方法	
工学部	機械工学プログラム	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
	電気電子工学プログラム	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
	海洋土木工学プログラム	専門教育を主とする学科等	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		普通科等	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
	化学工学プログラム	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
	化学生命工学プログラム	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	
	情報・生体工学プログラム	専門教育を主とする学科等	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
		普通科等	大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
	建築学科	建築学プログラム	(ア) 文系科目重視型 大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
			(イ) 理系科目重視型 大学入学共通テスト、面接及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。
(ウ) 実技試験型 大学入学共通テスト、空間構成及び調査書の成績の総合得点に基づいて選抜する。高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。			
共同獣医学部	獣医学科	大学入学共通テスト、小論文及び面接の成績の総合得点に基づいて選抜する。調査書及び高等学校長の推薦書は選抜の際の基礎資料とする。	

2 小論文・面接の実施日等

実施日 令和4年(2022年)2月5日(土)

場所 志願学部

※検査場案内図等の詳細は、受験票印刷時に「受験案内」(43頁5参照)で確認してください。

3 小論文等の時間割

学部・学科等	時刻	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
法文学部 法経社会学科 法学コース		面接 9:00~								
	8:30 集合	小論文 9:00~10:30						面接 13:00~		
		小論文 9:00~10:30								
	人文学科 多元地域文化コース	小論文 9:00~11:00								
心理学コース						12:30 集合	面接 13:00~			
教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 一般	8:40 集合	面接 9:00~								
		音楽	実技検査 9:00~ 面接(実技検査終了後)							
		保健体育	面接 9:00~							
中等教育コース 国語	12:30 集合						面接 13:00~			
							面接 13:00~			
							面接 13:00~			
							面接 13:00~			
							面接 13:00~			
							面接 13:00~			

(次頁へつづく)

(前頁からつづく)

学部・学科等	時刻	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	理学部 理学科 化学プログラム	8:40 集合	面接 9:00～						
生物学プログラム	面接 9:00～								
地球科学プログラム	面接 9:00～								
医学部 医学科	8:30 集合	面接 9:00～							
歯学部 歯学科	8:30 集合	面接※1 9:00～							
工学部 先進工学科 機械工学プログラム	8:40 集合	面接 9:00～							
電気電子工学プログラム		面接 9:00～							
海洋土木工学プログラム		面接 9:00～							
化学工学プログラム		面接 9:00～							
化学生命工学プログラム		面接 9:00～							
情報・生体工学プログラム		面接 9:00～							
建築学科 建築学プログラム ア 文系科目重視型 イ 理系科目重視型						12:40 集合	面接 13:00～		
ウ 実技試験型	8:40 集合	空間構成 9:00～11:00							
共同獣医学部 獣医学科	8:40 集合	小論文 9:00～11:00						面接 13:00～	

※1 歯学部歯学科では、受験者に面接用資料を作成させ（40分）、それらに基づき面接を行います。

Ⅳ 入学者選抜の実施教科・科目等について

志望する学部・学科等が指定する大学入学共通テストの利用教科・科目に対し、実際に受験した教科・科目が不足している場合や相違がある場合、又は第1解答科目の選択に誤りがある場合は、「出願無資格者」として取り扱いますので注意してください。

教科・科目名の表記について

1 大学入学共通テストの利用教科・科目名は、次のように略しています。

- 国語→国
『国語』→「国」
- 地理歴史→地歴
「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」, 「日本史A」→「日A」,
「日本史B」→「日B」, 「地理A」→「地理A」, 「地理B」→「地理B」
- 公民→公民
「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」, 『倫理, 政治・経済』→「倫・政経」
- 数学→数
「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』→「数Ⅰ・数A」,
「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 『数学Ⅱ・数学B』→「数Ⅱ・数B」,
『簿記・会計』→「簿」, 『情報関係基礎』→「情報」
- 理科→理
「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地学基」,
「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地学」
- 外国語→外
『英語』→「英」, 『ドイツ語』→「独」, 『フランス語』→「仏」, 『中国語』→「中」, 『韓国語』→「韓」

(注)『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

2 大学入学共通テストの利用方法については、次の例のように利用教科・科目名、利用方法を示しています。

[例]

世B, 日B, 地理Bから1科目を選択→ 世B, 日B, 地理Bから1

地歴 } から1教科1科目選択 → 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1
公民 }

数Ⅰ・数Aと数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1科目選択 計2科目選択
→ 数Ⅰ・数A
数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1

理科2又は3科目を選択 → ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 } から2又は3
②物, 化, 生, 地学から1又は2 }

〔理科については、①から2科目と②から1科目、
又は②から2科目選択解答すること。〕

※学科等により選択解答の方法が異なるため、[]内の注意書きを十分確認してください。

法文学部

(注) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」及び「理」(物、化、生、地学)において、1科目のみを課している場合は、第1解答科目として選択解答すること。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等 教科等 科目名等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科目名等		区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計	
法経社会学科 法学コース	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B }から2 倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1 ①物基、化基、生基、地学基から2 又は ②物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7か8科目又は6教科7か8科目〕	その他 面接	共通テスト	150	150	100	50	150						600
				個別学力検査									300		300
				計	150	150	100	50	150				300		900
地域社会コース・ 経済コース (商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B }から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 〔4教科5科目〕	その他 小論文及び面接	共通テスト	150	150	150		150					600	
				個別学力検査							1000		400		1400
				計	150	150	150		150	1000		400		2000	
地域社会コース・ 経済コース (全学科)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B }から2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1 ①物基、化基、生基、地学基から2 又は ②物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔公民(「現社」「倫」「政経」「倫・政経」)から〕 〔2科目を選択解答することはできない。〕 〔5教科7か8科目又は6教科7か8科目〕	その他 小論文	共通テスト	150	100	150	50	150					600	
				個別学力検査							900				900
				計	150	100	150	50	150	900				1500	
人文学科 多元地域文化コース	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B }から2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1 ①物基、化基、生基、地学基から2 又は ②物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔公民(「現社」「倫」「政経」「倫・政経」)から〕 〔2科目を選択解答することはできない。〕 〔5教科7か8科目又は6教科7か8科目〕	その他 小論文	共通テスト	150	150	100	50	150					600	
				個別学力検査							800		600	1400	
				計	150	150	100	50	150	800		600	2000		
心理学コース	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B }から2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数Bから1 ①物基、化基、生基、地学基から2 又は ②物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔公民(「現社」「倫」「政経」「倫・政経」)から〕 〔2科目を選択解答することはできない。〕 〔5教科7か8科目又は6教科7か8科目〕	その他 面接	共通テスト	150	100	150	50	150					600	
				個別学力検査								200	100	300	
				計	150	100	150	50	150			200	100	900	

教育学部

(配点の*は32頁参照)

(注) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」及び「理」(物、化、生、地学)において、1科目のみを課している場合は、第1解答科目として選択解答すること。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
	教科	科目名等	教科等 科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計		
初等 学校教育 教育 教員 養成 課程	一般	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から1又は2 簿, 情報 } から3又は4 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1又は2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔公民の「現社」を選択解答する場合, 他の1科目は, 「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」から選択解答すること。 数学から1科目選択解答する場合, 理科は①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。 数学から2科目選択解答する場合, 理科は①から2科目, 又は, ②から1科目選択解答すること。 〕 〔5教科7か8科目又は6教科7か8科目〕	その他 面接	共通テスト	200	200	*200	*200	200					900	
					個別学力検査									400	200	600
					計	200	200	*200	*200	200				400	200	1500
	文系 受験 類型	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 } から2又は3 ②物, 化, 生, 地学から1又は2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔理科については, ①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。ただし, 同一名称を付した科目(「物基」と「物」, 「化基」と「化」, 「生基」と「生」, 「地学基」と「地学」)の選択解答は認めない。〕 〔5教科7か8科目〕	その他 面接	共通テスト	200	100	200	200	200					900	
					個別学力検査								400	200	600	
					計	200	100	200	200	200			400	200	1500	
音楽	一般	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から1又は2 簿, 情報 } から3又は4 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1又は2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔数学から1科目選択解答する場合, 理科は①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。 数学から2科目選択解答する場合, 理科は①から2科目, 又は, ②から1科目選択解答すること。 〕 〔5教科7か8科目又は6教科7か8科目〕	その他 実技及び面接	共通テスト	200	200	*200	*200	200					900	
					個別学力検査								300	300	300	900
					計	200	200	*200	*200	200			300	300	300	1800
	保健 体育	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, } から1又は2 簿, 情報 } から3又は4 ①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1又は2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔数学から1科目選択解答する場合, 理科は①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。 数学から2科目選択解答する場合, 理科は①から2科目, 又は, ②から1科目選択解答すること。 〕 〔5教科7か8科目又は6教科7か8科目〕	その他 面接	共通テスト	200	200	*200	*200	200					900	
					個別学力検査								300	300	600	
					計	200	200	*200	*200	200			300	300	1500	

教育学部

(配点の*は32頁参照)

(注) 大学入学共通テストの「地歴」「公民」及び「理」(物、化、生、地学)において、1科目のみを課している場合は、第1解答科目として選択解答すること。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科目名等	教科等 科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計	
学校教育 教育コース 養成課程	中国語	国 地歴 公民 数 理 外 社会	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1又は2 ①物基、化基、生基、地学基から2 から3又は4 ②物、化、生、地学から1又は2 英、独、仏、中、韓から1	その他 面接	共通テスト	200	200	*200	*200	200					900
					個別学力検査								400	200	600
					計	200	200	*200	*200	200			400	200	1500
	社会	公民の「現社」を選択解答する場合、他の1科目は、「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」から選択解答すること。 数学から1科目選択解答する場合、理科は①から2科目と②から1科目、又は、②から2科目選択解答すること。 数学から2科目選択解答する場合、理科は①から2科目、又は、②から1科目選択解答すること。 [5教科7か8科目又は6教科7か8科目]	その他 面接	共通テスト	200	300	*150	*150	200						900
				個別学力検査							400	200	600		
				計	200	300	*150	*150	200			400	200	1500	
英語	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1又は2 ①物基、化基、生基、地学基から2 から3又は4 ②物、化、生、地学から1又は2 英、独、仏、中、韓から1	その他 面接	共通テスト	200	200	*150	*150	300					900	
				個別学力検査							400	200	600		
				計	200	200	*150	*150	300			400	200	1500	
数学	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 ①物基、化基、生基、地学基から2 から1又は2 ②物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 [理科については、①から2科目、又は、②から1科目選択] 解答すること。 [5教科6か7科目]	その他 面接	共通テスト	200	100	400	100	100					900	
				個別学力検査							400	200	600		
				計	200	100	400	100	100			400	200	1500	
理科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 ①物基、化基、生基、地学基から2 から2又は3 ②物、化、生、地学から1又は2 英、独、仏、中、韓から1 [理科については、①から2科目と②から1科目、又は、②から2科目選択解答すること。ただし、同一名称を付した科目〔「物基」と「物」〕、「化基」と「化」、「生基」と「生」、「地学基」と「地」の選択解答は認めない。 [5教科7か8科目]	その他 面接	共通テスト	100	100	200	400	100					900	
				個別学力検査							400	200	600		
				計	100	100	200	400	100			400	200	1500	
美術	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から2 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 ①物基、化基、生基、地学基から2 から1又は2 ②物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 [理科については、①から2科目、又は、②から1科目選択] 解答すること。 [5教科6か7科目又は6教科6か7科目]	その他 面接 (高等学校長承認のあるポートフォリオ持参)	共通テスト	200	200	100	100	200					800	
				個別学力検査							600	200	800		
				計	200	200	100	100	200			600	200	1600	

理学部

(注) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」及び「理」(物, 化, 生, 地学) において, 1科目のみを課している場合は, 第1解答科目として選択解答すること。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計	
理学科	化学プログラム	国 地歴 公民 数 理 外 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	その他	面接	共通テスト	150	50	300	300	200						1000
	生物学プログラム				個別学力検査									200		200
	地球科学プログラム				計	150	50	300	300	200				200		1200

医学部

(配点の※は32頁参照)

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
医学科	国 地歴 公民 数 理 外 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 英 [5教科7科目]	その他	面接	共通テスト	200	100	200	200	200						900
				個別学力検査									※		※
				計	200	100	200	200	200				※		※

歯学部

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科等	科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
歯学科	国 地歴 公民 数 理 外 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 英 [5教科7科目]	その他	面接	共通テスト	200	100	200	200	200						900
				個別学力検査									200		200
				計	200	100	200	200	200				200		1100

工学部

(配点の※は32頁参照)

(注) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」及び「理」(物、化、生、地学)において、1科目のみを課している場合は、第1解答科目として選択解答すること。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
	教科	科目名等	教科等 科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計
先進 工学科	数 理	数Ⅱ・数B 物 〔理科においては、「物」を第1解答科目として〕 〔選択解答すること。〕 〔2教科2科目〕	その他 面接	共通テスト			300	300						600
				個別学力検査							250	150	400	
				計			300	300			250	150	1000	
電気電子工学プログラム	数 理 外	数Ⅱ・数B 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科4科目〕	その他 面接	共通テスト			200	200	200					600
				個別学力検査							300	100	400	
				計			200	200	200		300	100	1000	
海洋土木工学プログラム 〔専門教育を主とする学科及び総合学科〕	数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から1 〔2教科3科目〕	その他 面接	共通テスト			300	200						500
				個別学力検査							250	250	500	
				計			300	200			250	250	1000	
海洋土木工学プログラム 〔普通科あるいはこれに準ずる学科〕	数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生、地学から1 〔2教科3科目〕	その他 面接	共通テスト			300	200						500
				個別学力検査							250	250	500	
				計			300	200			250	250	1000	
化学工学プログラム	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 〔3教科5科目〕	その他 面接	共通テスト			200	200	200					600
				個別学力検査							300	100	400	
				計			200	200	200		300	100	1000	
化学生命工学プログラム	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	その他 面接	共通テスト	100	50	200	200	200					750
				個別学力検査							150	100	250	
				計	100	50	200	200	200		150	100	1000	
情報・生体工学プログラム	国 数 理 外	国 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔4教科5科目〕	その他 面接	共通テスト	100		200	100	100					500
				個別学力検査							400	100	500	
				計	100		200	100	100		400	100	1000	
情報・生体工学プログラム 〔普通科あるいはこれに準ずる学科〕	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 〔1教科2科目〕	その他 面接	共通テスト			400							400
				個別学力検査							400	200	600	
				計			400			400	200	1000		
建築学プログラム ア(文系科目重視型)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科6科目〕	その他 面接	共通テスト	200	125	200	125	200					850
				個別学力検査							100	50	150	
				計	200	125	200	125	200		100	50	1000	
建築学プログラム イ(理系科目重視型)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	その他 面接	共通テスト	100	50	250	250	200					850
				個別学力検査							100	50	150	
				計	100	50	250	250	200		100	50	1000	
建築学プログラム ウ(実技試験型)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科6科目〕	その他 空間構成	共通テスト	100	50	100	50	100					400
				個別学力検査							550※	50	600	
				計	100	50	100	50	100		550※	50	1000	

※空間構成

共同獣医学部

(注) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」及び「理」(物, 化, 生, 地学) において, 1科目のみを課している場合は, 第1解答科目として選択解答すること。

学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	教科	科目名等	教科等 科目名等	区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	実技等	面接	調査書	配点合計	
獣医学科	国 地歴 公民 数 理 外	国世B, 日B, 地理B }から1 倫・政経 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物, 化, 生から2 英 [5教科7科目]	その他 小論文及び面接	共通テスト	200	100	200	200	300						1000
				個別学力検査						200		200			400
				計	200	100	200	200	300	200		200			1400

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- 1 「地理歴史」及び「公民」は、この2教科を同一の試験時間において実施しますが、出題教科としては、それぞれ独立した教科です。
- 2 「地理歴史」、「公民」及び「理科②（物、化、生、地学）」の試験時間において、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 3 「地理歴史」及び「公民」を課す学部・学科等において、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、それぞれ第1解答科目の成績を利用します。
その際、本学が指定している教科・科目以外を第1解答科目としている場合は、その教科は、利用できなくなり、その結果、出願要件を満たさないことがありますので注意してください。
- 4 「理科」を課す学部・学科等において、指定した科目数を超えて受験している場合は、以下のとおりとします。
 - ① 「理科①（物基、化基、生基、地学基）」の試験時間において2科目及び「理科②（物、化、生、地学）」の試験時間において1科目を受験した場合は、前者2科目の合計点と後者の得点のうち、得点の高い方を利用します。
 - ② 「理科②（物、化、生、地学）」の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。その際、本学が指定している科目以外を第1解答科目としている場合は、その教科は、利用できなくなり、その結果、出願要件を満たさないことがありますので注意してください。
- 5 「数学」を課す学部・学科等において、指定した科目数を超えて受験している場合は、得点の高い科目の成績を利用します。
- 6 「数学」において『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択解答することができる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 7 『英語』には「リスニング」を含みます。また、『英語』において「リーディング」のみを受験し「リスニング」を受験しなかった者は、本学の指定する教科・科目を受験していない「出願無資格者」として取り扱いますので注意してください。
『英語』以外の科目を受験した者については、試験（200点満点）の成績を素点として利用します。また、「リスニング」の受験を免除された者については、英語リーディング（100点）を200点満点に換算した点数を素点として利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- 1 配点に*を付してある教科について
 - (1) 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース一般（文系受験型）、音楽、保健体育及び中等教育コース国語において、大学入学共通テストの数学、理科に*を付してあるものは、「数学2科目・200点、理科①2科目・100点又は理科②1科目・100点」、あるいは、「数学1科目・100点、『理科①2科目・100点と理科②1科目・100点の合計200点』又は理科②2科目・200点」の配点となります。
なお、数学及び理科を合わせて4又は5科目を受験している場合は、(i)数学の得点の高い科目、(ii)「理科①2科目」と「理科②の第1解答科目」のうち得点の高い方、(iii)残りの科目のうち得点の高い科目の成績を利用します。
 - (2) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース社会及び英語において、大学入学共通テストの数学、理科に*を付してあるものは、「数学2科目・150点、理科①2科目・50点又は理科②1科目・50点」、あるいは、「数学1科目・50点、『理科①2科目・75点と理科②1科目・75点の計150点』又は理科②2科目・150点」の配点となります。
なお、数学及び理科を合わせて4又は5科目を受験している場合は、(i)数学の得点の高い科目、(ii)「理科①2科目」と「理科②の第1解答科目」のうち得点の高い方、(iii)残りの科目のうち上記にしたがい換算した後の合計得点が高くなる科目の成績を利用します。
- 2 配点に※を付してある教科について
 - (1) 医学部医学科の面接は、5段階で評価します。
 - (2) 工学部建築学科の「空間構成」は、与えられた材料により空間を構成する造形物を制作し、それに関する描画を行う試験です。
- 3 調査書について
 - (1) 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース一般の調査書では、部活動、ボランティア活動等、留学・海外経験等及び特別活動（生徒会・委員会・クラス係等）、全国的な評価がある取得資格、検定等及び表彰・顕彰等諸活動について評価します。
 - (2) 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽の調査書には、(1)の評価に加えて、音楽実技活動の実績調査書の評価が含まれます。
 - (3) 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース保健体育の調査書には、(1)の評価に加えて、実技調査書の評価が含まれます。

4 外国語（英語）のリーディングとリスニングの配点について

外国語（英語）のリーディングとリスニングの配点については、次表のとおりとします。

学部	学科・課程等		リーディング	リスニング	計	
法文学部	法経社会学科	法学コース	120	30	150	
		地域社会コース・経済コース				
	人文学科	多元地域文化コース				
教育学部	学校教育教員養成課程	初等教育コース	一般	160	40	200
			音楽			
			保健体育			
	中等教育コース	国語	160	40	200	
		社会	240	60	300	
		英語	80	20	100	
		数学	160	40	200	
理科						
美術						
理学部	理学科	化学プログラム	160	40	200	
		生物学プログラム				
		地球科学プログラム				
医学部	医学科		150	50	200	
歯学部	歯学科		160	40	200	
工学部	先進工学科	電気電子工学プログラム	160	40	200	
		化学工学プログラム				
		化学生命工学プログラム				
	情報・生体工学プログラム※1	80	20	100		
建築学科	建築学プログラム	160	40	200		
共同獣医学部	獣医学科		240	60	300	

※1 工学部先進工学科情報・生体工学プログラムにおいて『英語』を課すのは、「専門教育を主とする学科及び総合学科」になります。

外部英語検定試験スコアによるみなし満点（又は加点）制度の利用について

下表「外部英語検定試験一覧」にある「スコア基準」欄のスコアを取得している者は、外部英語検定試験スコアによるみなし満点（又は加点）制度の利用ができます。本制度の利用対象は、一般選抜（前期日程・後期日程）及び学校推薦型選抜Ⅱ，総合型選抜（自己推薦型選抜）の大学入学共通テスト「外国語」を課す学部・学科等とし、大学入学共通テスト「外国語」を英語で受験した者に限ります。

<外部英語検定試験一覧>

外部英語検定試験名	スコア基準
Cambridg English（ケンブリッジ英検）	FCE以上
実用英語技能検定	準1級合格以上（英検CBT，S-CBTも含む）
GTEC（旧GTEC CBT）	1250点以上（CBTタイプ（4技能）に限る）
IELTS	5.5以上（OverallBand Score）
TEAP	334点以上
TOEFL iBT	72点以上
TOEIC L&R/TOEIC S&W	1095点以上（L&R785点以上かつS&W310点以上）

※対象となるスコアは2019年度～2021年度実施分とし、出願時まで取得したものに限ります。

上表のスコアを取得している者は、出願時に成績証明書等を提出することで、大学入学共通テスト「外国語」の「英語リーディング」及び「英語リスニング」の得点について、以下のように取り扱うこととします。

「英語リーディング」の得点率	大学入学共通テスト「英語リーディング」の得点
80%以上	得点を満点とみなす（みなし満点制度）
80%未満	得点の25%（小数点第三位以下切り捨て）を加点する（加点制度）

「英語リスニング」の得点率	大学入学共通テスト「英語リスニング」の得点
80%以上	得点を満点とみなす（みなし満点制度）
80%未満	得点の25%（小数点第三位以下切り捨て）を加点する（加点制度）

以下に具体的な計算例を示します。

	実際の得点	→	みなし満点（又は加点）制度適用後の得点
例1	英語リーディング 82点	→	英語リーディング 100点
	英語リスニング 90点		英語リスニング 100点
例2	英語リーディング 82点	→	英語リーディング 100点
	英語リスニング 70点		英語リスニング 87.5点 ※70点 + (70点 × 0.25) = 87.5点
例3	英語リーディング 72点	→	英語リーディング 90点 ※72点 + (72点 × 0.25) = 90点
	英語リスニング 90点		英語リスニング 100点
例4	英語リーディング 72点	→	英語リーディング 90点 ※72点 + (72点 × 0.25) = 90点
	英語リスニング 70点		英語リスニング 87.5点 ※70点 + (70点 × 0.25) = 87.5点

※みなし満点（又は加点）制度適用後の得点については、各選抜区分において各学部・学科等が定める「英語リーディング」及び「英語リスニング」の配点に基づいた換算を行います。

V 採点・評価基準

1 小論文

次の学部・学科で小論文を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

- (1) 法学部法経社会学科地域社会コース・経済コース
社会の諸事象に関する文章などを読ませ、社会的な問題に対する関心や思考力、文章などの読解力ならびに論理的な説明能力をみます。
- (2) 法学部人文学科多元地域文化コース
出題の内容について、発想の柔軟さ、適切な論理の展開と表現能力を問います。
- (3) 共同獣医学部獣医学科
提示された資料、課題に対する理解力、分析力、論理的思考力及び文章表現力等を評価・採点します。なお、資料は英文で提示することがあります。

2 空間構成

- (1) 工学部建築学科建築学プログラム (ウ 実技試験型)
空間や立体などの構成に関する分析力、理解力、表現力を問います。

3 実技検査

- (1) 教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽は、実技検査を課します。
ピアノ、声楽、ソルフェージュ、その他の楽器（希望者のみ）を課し、音楽の基礎的能力と表現力・技術力をみます。

4 面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学部	学科・課程等		面接の形態			面接時間	評価事項
			個人面接	集団面接	面接員数		
法学部	法経社会学科	法学コース	○		2～3人	15分	学習意欲、社会の諸問題に対する関心の高さ、基礎的な表現力をみます。
		地域社会コース・経済コース※1	○		3～5	10	社会の諸事象に対する関心と学習意欲をみます。
	人文学科	心理学コース		○※2	2～3	15	人の心と行動に対する関心の高さ、勉強意欲、コミュニケーション能力などをみます。
教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース	一般	○		3	15	教員志望への熱意、初等教育への関心、コミュニケーション能力などをみます。
		音楽	○		2～5	15	音楽の基礎的内容の理解、音楽への興味・関心、音楽活動への参加状況、勉強意欲の程度、初等教育教員志望への熱意などをみます。
		保健体育	○		2～3	15	教員志望への熱意、体育の教育への関心、コミュニケーション能力などをみます。
	中等教育コース	国語	○		3～6	10	国語の基礎的内容の理解、国語への興味・関心、勉強意欲の程度、教員志望への熱意をみます。
		社会	○		3～5	20	地理歴史及び公民の基礎的内容の理解、社会科への興味・関心、勉強意欲及び教員志望への熱意などをみます。
		英語	○		2～5	15	英語の基礎力、関心、勉強意欲の程度、教員志向の熱意等を評価します（英語による質疑応答を含みます）。
		数学	○		2～6	20	数学Ⅲの基本的内容の理解の確認、数学への興味・関心の程度、数学を題材とした書物の読書体験、教員志望の熱意などをみます。
		理科	○		3～8	15	理科に関する基礎的理解や学力の確認、教員志望の意欲や熱意などをみます。
	美術	○※3		3～5	20	持参した高専学校長承認印のあるポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの）をもとに、美術の基礎的内容の理解、美術への興味・関心、勉強意欲の程度、教員志望への熱意などをみます。	
理学部	理学科	化学プログラム	○		3	15	志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて評価します。
		生物学プログラム	○		3	15	志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて評価します。
		地球科学プログラム	○		3	15	志望動機、学習意欲、基礎学力などについて、調査書の内容も含めて評価します。
医学部	医学科		○		3～5	20	鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者について、医療人としての適性及び能力をみます。

(前頁からつづく)

学 部	学科・課程等	面 接 の 形 態			面接時間	評 価 事 項	
		個人面接	集団面接	面接員数			
歯 学 部	歯学科	○ ※4		3	20	歯科医療の発展に貢献しようとする強い意欲と情熱を持つ者について、歯科医療人としての適性及び能力をみます。	
工 学 部	先進工学科	機械工学プログラム	○		5	10	学習意欲、目的意識と適性について評価します。
		電気電子工学プログラム	○		3～6	15	電子電気工学を学ぶうえで必要な基礎的事項に関する理解力、論理的思考力、学習意欲、目的意識について評価します。
		海洋土木工学プログラム	○		3～5	10	海への興味・理解の程度、学習意欲、土木技術者としての適性などを評価します。
		化学工学プログラム	○		3～5	10	学習意欲、適性などについて評価します。
		化学生命工学プログラム	○		3	10	学習意欲、目的意識、適性などについて評価します。
		情報・生体工学プログラム	○		3～5	10	情報生体システム工学を学ぶうえでの適性と意欲を評価します。
共同獣医学部	獣医学科	建築学プログラム ア 文系科目重視型 イ 理系科目重視型	○		3～5	15	志望の動機及びこれまでの生活における建物とのかかわり方を通して建築への適性を評価します。自分の考えを論理的に表現する能力を評価します。
			○		3～5	15	志望動機、勉学意欲、質問に対する理解力、表現力等を評価・採点するとともに、志願学科への適性をみます。

(注) 受験者数により「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

- ※1 法学部法経社会学科地域社会コース・経済コースは、「商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科」を対象とする選抜で面接を実施します。
- ※2 法学部人文学科心理学コースにおける面接の形態は討論を含めた集団面接を行います。
- ※3 教育学部中等教育コース美術では、受験者が持参する高等学校長承認印のあるポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの）をもとに、面接を行います。
- ※4 歯学部歯学科では、受験者に面接用資料を作成させ（40分）、それらに基づき面接を行います。

VI 合否判定基準

1 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。(ただし、医学部医学科においては大学入学共通テスト及び個別学力検査等を総合判定し、合否を決定します。)

なお、本学が課す大学入学共通テスト及び個別学力検査等のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象とはなりません。

2 1に加えて、教育学部・医学部・歯学部・工学部においては、合否判定を次表のとおり行います。

学部	学科等		合否判定基準	
教育学部	学校教育 教育教員 養成課程	初等教育コース	音楽	面接の評価が著しく低い場合 (75 点以下), 総合得点にかかわらず, 不合格とすることがある。
		中等教育コース	社会	面接の評価が著しく低い場合 (100 点以下), 総合得点にかかわらず, 不合格とすることがある。
			理科	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 55% 未満の場合, 又は面接の評価が著しく低い場合 (100 点以下), 総合得点にかかわらず, 不合格とすることがある。
医学部	医学科		面接の評価が著しく低い場合には, 不合格とすることがある。	
歯学部	歯学科		大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 70% 未満の場合, 総合得点にかかわらず不合格とする。 また, 面接の得点が配点の 50% 未満の場合には, 総合得点にかかわらず不合格とすることがある。	
工学部		機械工学プログラム		大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50% 未満の場合, 総合得点の順位にかかわらず不合格とする。
		電気電子工学プログラム		大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50% 未満の場合, 総合得点の順位にかかわらず不合格とする。
	先進 工学科	海洋土木工学 プログラム	専門教育を 主とする学 科等	大学入学共通テストの数学と理科の合計, 面接, 調査書の 3 つの 評価項目のうち, いずれか 1 つでも配点の 40% 未満の場合, 総 合得点の順位にかかわらず不合格とする。
			普通科等	大学入学共通テストの数学と理科の合計, 面接, 調査書の 3 つの 評価項目のうち, いずれか 1 つでも配点の 40% 未満の場合, 総 合得点の順位にかかわらず不合格とする。
	情報・生体工学 プログラム	専門教育を 主とする学 科等	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50% 未満の場合, 総合得点の順位にかかわらず不合格とする。	
		普通科等	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 50% 未満の場合, 総合得点の順位にかかわらず不合格とする。	
	建築 学科	建築学 プログラム	(ア) 文系 科目重視型	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 65% 未満の場合, 又は個別学力検査の面接の得点が配点の 50% 未満の場合, 又は 大学入学共通テストと個別学力検査の総合得点が配点合計の 70% 未満の場合, 総合得点の順位にかかわらず不合格とする。
			(イ) 理系 科目重視型	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 65% 未満の場合, 又は個別学力検査の面接の得点が配点の 50% 未満の場合, 又は 大学入学共通テストと個別学力検査の総合得点が配点合計の 70% 未満の場合, 総合得点の順位にかかわらず不合格とする。
			(ウ) 実技 試験型	大学入学共通テストの合計得点が配点合計の 55% 未満の場合, 又は個別学力検査の空間構成の得点が配点の 60% 未満の場合, 総合得点の順位にかかわらず不合格とする。

3 総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学 部	学 科 等		同 点 者 の 優 先 順 位		
法 文 学 部	法 経 社 会 学 科	法学コース	1. 共通テスト (合計)		2. 共通テスト (外国語)
		地域社会コース・経済コース(商業科等)※1	1. 小論文・面接 (合計)		2. 小論文 3. 共通テスト (外国語)
		地域社会コース・経済コース(全学科)	1. 小論文 2. 共通テスト (外国語)		3. 共通テスト (国語)
	人文学科	多元地域文化コース	1. 小論文 2. 共通テスト (国語)		3. 共通テスト (外国語)
		心理学コース	1. 面接 2. 共通テスト (国語)		3. 共通テスト (外国語)
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 教 育 コース	一般	1. 共通テスト (合計) 2. 面接	
			音楽	1. 実技検査 2. 調査書 3. 面接	
			保健体育	1. 共通テスト (合計) 2. 面接	
	中 等 教 育 コース	国語	1. 面接 2. 調査書		
		社会	1. 面接 2. 共通テスト (合計)		
		英語	1. 共通テスト (外国語) 2. 共通テスト (合計) 3. 面接		
		数学	1. 共通テスト (合計)		
		理科	1. 面接 2. 調査書		
		美術	1. 面接 2. 調査書		
理 学 部	理 学 科	化学プログラム	1. 共通テスト (合計) 2. 共通テスト (理科の合計)		
		生物学プログラム	3. 共通テスト (数学の合計) 4. 共通テスト (外国語)		
		地球科学プログラム			
歯 学 部	歯 学 科		1. 面接 2. 共通テスト (外国語) 3. 共通テスト (数学の合計) 4. 共通テスト (理科の合計)		
工 学 部	先 進 工 学 科	機械工学プログラム	1. 共通テスト (合計) 2. 面接 3. 調査書		
		電気電子工学プログラム	1. 共通テスト (数学と理科の合計) 2. 面接		
		海洋土木工学プログラム	1. 共通テスト (合計) 2. 面接 3. 調査書		
		化学工学プログラム	1. 共通テスト (外国語) 2. 共通テスト (数学②) ※ 3 3. 共通テスト (数学①) ※ 2 4. 共通テスト (合計)		
		化学生命工学プログラム	1. 共通テスト (合計) 2. 面接		
	建 築 科	情報・生体工学プログラム	1. 共通テスト (外国語) 2. 共通テスト (数学②) ※ 3 3. 共通テスト (数学①) ※ 2		
		建築学プログラム			
共同獣医学部	獣医学科		1. 小論文・面接 (合計) 2. 共通テスト (外国語) 3. 共通テスト (理科)		

(注) 同点者の優先順位に用いる大学入試共通テストの得点は26～31頁の配点のとおりとし、34頁の外部英語検定試験スコアによる希望者優遇制度を利用する場合の大学入試共通テスト「外国語」の得点はみなし満点 (又は加点) 後の得点です。

※ 1 商業科等とは、商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科のことを示します。

※ 2 共通テスト (数学①) とは、「数学 I」『数学 I・数学 A』を示します。各プログラムの利用科目は30頁を参照してください。

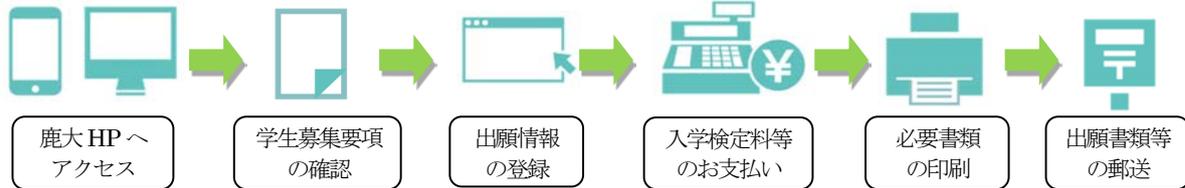
※ 3 共通テスト (数学②) とは、「数学 II」『数学 II・数学 B』『簿記・会計』『情報関係基礎』を示します。各プログラムの利用科目は30頁を参照してください。

Ⅶ 出願手続

インターネットを利用した出願を行います。鹿児島大学の入試案内のホームページ（以下参照）へアクセスし、本学生募集要項の内容を参照しながら出願手続を行ってください。

鹿児島大学 入試案内（インターネット出願登録サイト）

URL <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/web03.html>



1 インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料等の支払い

出願期間 令和4年（2022年）1月11日（火）～1月20日（木）

注）次頁の出願期間内に出願書類を提出する必要がありますので、それに間に合うように登録・支払いを済ませてください。

(1) インターネットによる出願情報の登録

① 事前準備が必要となる主な事項

・電子メールアドレス

スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。登録された電子メールアドレスは、出願情報登録完了等の確認メールの送信に利用するほか、セキュリティコードの再通知の際にも必要になります。

・A4サイズの普通紙が印刷できるプリンタ

出願確認票や受験票の印刷に利用します。自宅にない場合は、学校やコンビニエンスストア等を利用してください。

・証明写真（顔写真）データ

上半身・脱帽・正面向きかつ無背景で出願期間から6ヶ月以内にスマートフォンやデジタルカメラ等を用いて撮影したカラー写真で、データ容量が100KB 以上5MB 以下のjpg 又はpng データが必要です。

② インターネット出願登録サイトからの出願登録

パソコン又はスマートフォンから上記URL にアクセスし、注意事項等を確認のうえ、出願情報（選抜区分、志望学部・学科等、氏名、連絡先等）の登録を行ってください。

インターネットでの出願登録や入学検定料等の払込みを行っただけでは、出願手続完了となりません。必ず出願期間内に

出願書類の提出を行ってください。
※出願期間内に

出願書類の提出がない場合は、出願未完了（登録データ無効）となりますので、注意してください。

(2) インターネット出願登録サイトでの入学検定料等の支払い方法

事項	摘 要
入学検定料 及び 成績開示請求手数料 (希望者のみ)	<p>1. 入学検定料 17,000円 成績開示請求手数料 1 選抜ごとに500円 (希望者のみ) ※上記のほかに、1回の出願登録につき別途払込手数料が志願者負担として必要です。</p> <p>2. 支払い方法 コンビニエンスストア、銀行ATM (Pay-easy での支払い)、ネットバンキング、クレジットカードでの支払いが可能です。</p> <p>3. 入学検定料等の返還について 既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合 (イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合 返還請求の方法については、本学ホームページ (https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/henkan.html) に掲載していますので、ご確認ください。 (返還請求期限：令和4年(2022年)2月28日(月)消印有効) なお、返還にかかる振込手数料は志願者の負担となり、実際の返還額は振込手数料を差し引いた金額となります。 また、入学検定料等の払込時の払込手数料は返還対象外となります。</p>

(3) インターネット出願登録サイトからアップロード作業が必要なもの

事項	摘 要
証明写真(顔写真)データ ※白黒(モノクロ)不可	インターネット出願登録及び入学検定料等の支払い後、登録完了メールに記載されているURL から、インターネット出願登録サイトへ再度ログインし、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。

2 出願期間

令和4年(2022年)1月18日(火)～1月20日(木)17時必着

※「3 出願書類等」の種類によっては準備に時間を要する場合がありますので、事前に十分確認してください。

3 出願書類等

(1) インターネット出願登録サイトから印刷する出願書類等

番号	出願書類等	摘 要
1	出願確認票	<p>この出願確認票は大学へ郵送する書類です。 出願内容等に間違いがないか確認し、入学検定料等の支払い後にA4用紙にカラー印刷したものを提出してください。 「令和4年度共通テスト成績請求票貼り付け欄」には、(推薦 国公立推薦型選抜用)をはがれないように糊付けしてください。また、共通テスト受験票又は成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票を糊付けしてください。 (注1) 入学検定料等の支払い完了後は、出願確認票の変更ができなくなります。 入学検定料等の支払い後に登録内容(郵便番号・住所・電話番号)の修正を行う場合は、出願確認票の修正部分に2重線を引き、その上に訂正印を押して余白に正しい内容を朱書きしてください。 (注2) 郵便番号・住所・電話番号以外の内容(志望学部・学科等)の修正がある場合は、郵送前に学生部入試課へメールでご連絡ください。</p>
—	宛名ラベル	<p>出願書類等郵送用として、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を各自で事前に準備してください。 宛名ラベルをA4用紙にカラー印刷し、準備した封筒の表側に貼り付けてください。</p>

出願確認票及び宛名ラベルは、「1 インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料等の支払い」がすべて完了しないと印刷できません。

(2) 出願者が準備する出願書類等

番号	出願書類等	摘 要	対象学部
2	調 査 書 又は 成 績 証 明 書 等 (厳封したもの)	文部科学省の定めた様式により出身学校長が作成した調査書を提出すること。 (注1) 調査書及び成績証明書等は令和3年(2021年)4月以降に発行し、厳封されたものを提出すること。 (注2) 改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、戸籍抄本等の公的機関が発行した書類の写しを添付すること。 (注3) 出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えた場合及び廃校・被災その他の事情により、調査書(成績証明書等を含む。)が得られない場合は、「卒業証明書」に加え、「成績証明書」又は「単位修得証明書」を提出すること。 ただし、「成績証明書」又は「単位修得証明書」が提出できない場合は、高等学校長等が作成した「成績証明書又は単位修得証明書が発行できない旨の理由書」を代わりに提出すること。	全学部
3	高等学校長の推薦書 (ダウンロード印刷)	本学所定の様式をダウンロードのうえ、高等学校長が作成し、厳封したものを提出すること。(A4両面印刷) 詳細は次項参照 (注) 記載責任者は、担任教諭としてください。	
4	実技関係調書等 (ダウンロード印刷)	本学所定の様式をダウンロードのうえ、学校教育教員養成課程初等教育コース音楽の志願者は、下記の書類を提出すること。詳細は次項参照 ①音楽実技活動の実績調書 高等学校長が作成、厳封したものを提出すること。なお、実績調書に記載した実績を証明するプログラム、賞状又は各種検定グレード証明書等の写し等を添付すること(A4印刷)。 ②実技検査受験種目届 志願者本人が記入し提出すること(A4印刷)。 ③楽譜 声楽、その他の楽器、について必ず提出すること。 ※声楽 楽譜の右上に受験番号(6桁)及び志願者氏名を記入すること。 ※その他の楽器 楽譜の右上に受験番号(6桁)、志願者氏名及び楽器名を記入すること。	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽
		本学所定の様式をダウンロードのうえ、学校教育教員養成課程初等教育コース保健体育の志願者は、下記の書類を提出すること。詳細は次項参照 ①実技調書 高等学校長が作成、厳封したものを提出すること。なお、実技調書に記載した入賞歴を証明する資料の写し等を添付すること(A4印刷)。	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 保健体育
5	自己推薦書 (ダウンロード印刷)	本学所定の様式をダウンロードのうえ、志願者本人が手書きで作成したものを提出すること。(A4両面印刷) 詳細は次項参照 (注) 自己推薦書は、法経社会学科の法学コースと地域社会コース・経済コース「商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科」を対象とします。	法文学部法経社会学科 法学コース、 地域社会コース・経済 コース(商業科等)
6	誓 約 書 (ダウンロード印刷)	本学所定の様式をダウンロードのうえ、 <u>志願者本人及び親権者(後見人)</u> が自筆で記入したものを提出すること。(A4印刷)	医学部医学科
7	授業内容のわかる 資料	志願者が高等学校で履修している授業科目の内容が記載されている資料(教育課程が記載されている学校便覧・学校要覧・シラバス等)を提出すること。詳細は次項参照 (注) 授業内容のわかる資料(学校便覧・学校要覧・シラバス等)は、工学部海洋土木工学プログラムの「専門教育を主とする学科及び総合学科」又は、情報・生体工学プログラムの「専門教育を主とする学科及び総合学科」を対象とし、志願者1人につき1冊必要です。他の出願書類と別便で送付する場合は、封筒の表に、志願学部・学科名、志願者氏名及び学校便覧(学校要覧)在中の旨を明記してください。(宛名ラベルは使用しないでください)。 なお、冊子での提供ができない場合には、上記内容等が記載されている部分の写しの提出でも可とします。	工学部先進工学科 海洋土木工学プロ グラム(専門)、情 報・生体工学プロ グラム(専門)

(次頁へつづく)

(前頁からつづく)

8	(希望者優遇制度)外部英語試験の成績証明書等(原本) [2019年度～2021年度実施分]及び返信用封筒	34頁に記載された外部英語検定試験のスコア基準を満たす者で、大学入学共通テスト「外国語」の得点にかかる優遇者制度の利用を希望する者は、次の書類のいずれか1つを提出すること。 なお、提出した成績証明書等の返送用として、「返信用封筒(700円分の切手を貼付し、郵便番号、住所、氏名を記載した市販の角形2号封筒)」を、必ず同封すること。 (注)「返信用封筒」を同封していない場合、返却は行いませんのでご注意ください。	全学部
		Cambridge English (ケンブリッジ英検):「合格証明書」(FCE 以上)	
		実用英語技能検定:「合格証明書」(準1級以上)	
		GTEC:「Official Score Certificate」(1250点以上) ※CBTタイプ(4技能)に限る	
		IELTS:「Test Report Form」(5.5以上 (Overall Band Score))	
		TEAP:スコアレポート(334点以上)	
		TOEFL iBT:「Official Score Reports」又は「Test Taker Score Report」(72点以上)	
TOEIC L&R / TOEIC S&W:「Official Score Certificate」(1095点以上 [L&R785点以上かつS&W 310点以上])			

(3) 推薦書等書類について

志願学部・学科等により提出する書類が異なるので、注意してください。

学部・学科等			高等学校長の推薦書 (高等学校長作成)	調査書・調書等 (高等学校長作成)	実技関係等書類 (志願者本人作成)	授業内容のわかる資料 (学校要覧・シラバス等)	自己推薦書 (志願者本人作成)	誓約書	
法 文 学 部	法経 社会 学科	法学コース	○	○	×	×	○	×	
		地域社会コー ス・経済コー ス	○	○	×	×	○	×	
	人文 学科	商業科等 全学科	○	○	×	×	×	×	
		多元地域文化コース	○	○	×	×	×	×	
教 育 学 部	学校 教育 教員 養成 課程	初等教育 コース	心理学コース	○	○	×	×	×	×
			一般	○	○	×	×	×	×
			音楽	○	○	○	×	×	×
	中等 教育 コー ス	保健体育	○	○	×	×	×	×	
		国語	○	○	×	×	×	×	
		社会	○	○	×	×	×	×	
		英語	○	○	×	×	×	×	
		数学	○	○	×	×	×	×	
理 学 部	理 学 科	理科	○	○	×	×	×	×	
		美術	○	○	×	×	×	×	
		化学プログラム	○	○	×	×	×	×	
医 学 部	医 学 科	生物学プログラム	○	○	×	×	×	×	
		地球科学プログラム	○	○	×	×	×	×	
		歯学科	○	○	×	×	×	○	
工 学 部	海 洋 土 木 工 学 プ ロ グ ラ ム (専 門 教 育 を 主 と す る 学 科 等) 又は、情 報 ・ 生 体 工 学 プ ロ グ ラ ム (専 門 教 育 を 主 と す る 学 科 等)	歯学科	○	○	×	×	×	×	
		上記以外のプログラム	○	○	×	×	×	×	
共 同 獣 医 学 部	獣 医 学 科	○	○	×	×	×	×		

(4) 推薦書等書類の作成に係る本学所定の様式について

出願書類等	摘 要	対象学部
高等学校長の推薦書	本学ホームページからダウンロードした所定の様式により学校長が作成し押印のうえ厳封されたものを郵送してください。(A 4 両面)	全学部
自己推薦書	本学ホームページからダウンロードした所定の様式に志願者本人が手書きで作成し郵送してください。(A 4 両面)	法文学部法経社会学科法学コース, 地域社会コース・経済コース(商業科等)
実技関係調書 音楽実技活動の実績調書 実技調書(保健体育)	本学ホームページからダウンロードした所定の様式により学校長が作成し押印のうえ厳封されたものを郵送してください。(A 4 印刷)	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽 初等教育コース 保健体育
実技関係書類 実技検査受験種目届	本学ホームページからダウンロードした所定の様式に志願者本人が記入し郵送してください。(A 4 印刷)	教育学部 学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽
誓 約 書	本学ホームページからダウンロードした所定の様式に志願者本人及び親権者(後見人)が自筆で記入し郵送してください。(A 4 印刷)	医学部医学科

4 出願書類の提出方法

入学志願者は、「3. 出願書類等」を番号順に取り揃え、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に入れてください。その封筒の表側にインターネット出願登録サイトから各自で印刷した宛名ラベルを貼り付けて提出してください。

提出は、原則として一般書留・速達郵便に限ります。郵便事情を考慮して早めに発送してください。ただし、出願期間最終日の17時までに到着しないおそれがある場合は、出願期間最終日に限り個人による学生部入試課窓口への持参を認めます。(受付時間は9時～17時(12時～13時を除く。))

5 受験票の印刷通知及び受験案内等

令和4年(2022年)1月28日(金)12時以降、インターネット出願登録サイトにログインすることで受験票を印刷することが可能です。受験票をA4用紙(縦向き)にカラー印刷し、試験当日に持参してください。

また、上記日頃に出願手続の際に登録した電子メールアドレスへ「受験票印刷可能通知」を送信します。この通知には、検査場の案内や検査時間、受験上の注意事項等を記載した「受験案内」に関するお知らせも含まれていますので、必ず確認してください。

6 出願手続に関する留意事項

- (1) 出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受理できませんので、十分点検して提出してください。
- (2) 出願書類の返却はできません。ただし、出願書類に不備があり、出願を受け付けできなかった場合に限っては返却します。
- (3) 出願手続完了後に志望学部・学科等を変更することはできません。
- (4) 受験票は、受験及び入学手続に必要です。大切に保管してください。
- (5) 出願手続その他に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

【出願書類提出等の問い合わせ先】 鹿児島大学学生部入試課入試実施係(連絡先等は裏表紙参照)

VIII 受験上の注意

- (1) 受験者は、検査員の許可がなければ検査室に入入りすることができません。
- (2) 受験者は、縦向きのA4用紙に各自でカラー印刷した「**本学の受験票**」及び「**大学入学共通テスト受験票**」を持参し、検査開始20分前の合図により各自指定の検査室に入り本学の受験票と同番号の席に着き、「**本学の受験票**」及び「**大学入学共通テスト受験票**」を机の上に置いてください。
- (3) 検査開始時刻に遅刻した者や受験票を忘れた者は、各学部の検査場本部に申し出てください。検査開始時刻に遅刻した場合は、検査開始時刻後30分以内の遅刻に限り、その科目等の受験を認めます。なお、遅刻の理由が交通機関の遅延・予定外の運休等の場合は、検査場本部に申し出てください。
- (4) 面接を受験する受験者が面接開始時刻までに面接控室に入室していない場合は、面接の受験は認められませんので注意してください。
- (5) **本学が課す個別学力検査等（面接用資料作成を含む）のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象者とはなりません。**
- (6) 鉛筆（鉛筆キャップ、シャープペンシルも可）・消しゴム・鉛筆削り（電動式を除く。）等は各自用意し、検査中に他人の物品を借りたり、共用したり、検査に必要なない物品を持ち込んだりしてはいけません。
〔歯学部歯学科の面接を受験する者は、筆記用具を準備してください。〕
- (7) 教育学部学校教育教員養成課程中等教育コース美術の面接を受験する者は、高等学校長承認印のあるポートフォリオ（自己の作品写真集で入選・入賞歴も記載したもの）を必ず持参してください。
- (8) **時計を使用する場合は、計時機能だけのものとします。**アラームや時報機能のついた時計は、検査室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。
- (9) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、検査室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。検査時間中に、これらをかばん等に入れず、身に付けていたり、手に持っているとは不正行為となることがあります。
なお、検査時間中にかばん等の中で携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は、検査員が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出し、検査場本部で当該検査時間終了まで保管します。
- (10) 検査室に入室してから検査終了まで退室を認めません。ただし、検査中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて検査員の指示に従ってください。この場合、検査時間の延長は認めません。
- (11) 検査に際して不正行為が認められた受験者については、その検査は無効とし、その後の受験を認めません。この場合、すべての成績が無効となり、合否判定の対象者とはなりません。
- (12) 2月4日（金）14時から各学部の検査場で検査室配置図等の掲示を行いますので、受験生は必ず確認しておいてください。ただし、検査棟内への立入りはできません。
- (13) 検査当日は、公共の交通機関を利用してください。自動車・バイク等による入構を禁止します。

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症拡大防止と受験者の皆さんの受験環境確保のため、以下の内容に沿って対応してください。なお、今後の感染拡大状況により、内容が変更となった場合は、ホームページ等によりお知らせします。

1. 検査前日までについて

- ① 受験に向けた健康管理
 - ・検査当日までは「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の徹底と体調管理に努めてください。
 - ・検査日7日程度前から、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認してください。
 - ・検査日の2週間程度前から、発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。
 - ・他の疾患への罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受ける等の対策を検討してください。
 - ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを推奨します。
- ② 受験できない者
 - 以下に該当する者は、受験することができません。
 - 1) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
 - 2) 海外から日本に入国して受験する者で、防疫対策として要請される事項に基づく入国後の待機期間中であるもの
- ③ 受験の可否について確認を要する者
 - 発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者（※）については、本学が定める要件を満たす場合のみ受験可能ですので、必ず、下記の問い合わせ先にあらかじめ連絡のうえ、受験の可否について指示を受けてください。
 - （※）この注意事項における濃厚接触者とは、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者を指します。

2. 検査当日について

- ① マスク着用の義務付け（各自で準備）
 - 発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、構内及び検査室内では、昼食時を除き、マスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。検査時間中は受験票による写真照合の時などに、検査員からの指示があった場合は、マスクを一旦取り外してください。また、休憩時間や昼食時等は他者との接触、会話を極力控えてください。
 - 何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、下記の問い合わせ先にあらかじめ連絡のうえ、指示を受けてください。
- ② 手指消毒の実施
 - 建物や検査室の入口などに設置している速乾性アルコール製剤等による手指消毒を行ってください。
- ③ 当日の体調不良（発熱・咳等の症状）の場合
 - 検査開始前に検査員が発熱・咳等の症状の有無を確認した際に症状があると申し出た場合、症状によっては、別室での受験となる場合があります。
 - また、検査実施中に体調不良となった場合は、速やかに検査員等に申し出て指示に従ってください。
- ④ 検査当日の控室、保護者及び高等学校教員等の入構・入棟について
 - 悪天候時や試験の空白時間等に備え、感染症対策を講じたうえで、受験者のための控室を設置します。
 - なお、保護者、高等学校教員の方の入構・入棟については原則お断りします。
- ⑤ 検査当日の服装、昼食
 - 検査当日は、検査室の換気のため窓の開放を行います。その場合、室温が変動することがありますので、防寒具（上着）等を持参してください。また、検査当日は大学内の食堂は利用出来ませんので、昼食を持参し、指示された時間内に自席で食事をとるようにしてください。
- ⑥ 検査終了時について
 - 感染拡大防止のため検査終了後の退出については、検査員から退出方法や順番を指示することがあります。
 - なお、検査室及び大学構内ではマスクを廃棄しないでください。
 - また、検査終了後はまっすぐ帰宅し、帰宅後はまず手や顔を洗うように努めてください。

【本件に関する問い合わせ先】 鹿児島大学学生部入試課（連絡先等は裏表紙参照）

検査前日又は検査当日、検査場周辺等で「受験料の徴収」、「合格電話・電報」等の受け付けをする者がいた場合、これらの行為は本学とは何ら関係のないものであり、これらのことから生じるトラブルに対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

—入学試験当日の実施についての注意点—

地震や風水害等の自然災害等により、入学試験場までの交通手段が奪われ、当初の日程通りに入学試験等を実施することが困難であると本学が判断した場合、入学試験時間の繰り下げ、入学試験の延期（追試験の実施）、入学試験会場の変更等の措置をとることがあります。

これらの措置を講じる場合は鹿児島大学ホームページ上に掲載します。

ただし、このことに伴う受験者の個人的損害について本学は責任を負いません。

Ⅸ 教育学部の実技検査等

教育学部学校教育教員養成課程初等教育コース音楽の志願者には、次表の実技検査を課します。

<p>1. 器楽</p> <p>A. ピアノ（全員必須） J. Haydn, W.A.Mozart又はL.v.Beethoven作曲（Op. 101, Op. 106, Op. 109, Op. 110, Op. 111を除く）のピアノソナタ、又は『ソナチネ アルバム 1』第1番～第17番、『ソナチネ アルバム 2』第1番～第15番より任意の楽章。 （『ソナチネ アルバム』の曲の番号は全音楽譜出版社版に拠る。） ※出願の際「初等教育コース音楽実技検査受験種目届（学校推薦型選抜Ⅱ）」に作曲者名及び曲名（作品番号及び楽章を含む）を記入すること。</p> <p>B. その他の楽器（希望者） 自由曲1曲 ※出願の際「初等教育コース音楽実技検査受験種目届（学校推薦型選抜Ⅱ）」に演奏楽器名、作曲者名及び曲名を記入し、楽譜を提出すること。（コピー、手書き、ともに可。ただし、正確で明瞭であること。楽譜の右上に受験番号（6桁）、志願者氏名及び楽器名を記入すること。なお、提出された楽譜は返却しない。） 楽器は各自持参すること。 なお、マリンバ、ティンパニー等の大型楽器については、教育学部音楽科事務室に問い合わせること。（TEL：099-285-7901）</p> <p>2. 声楽（全員必須） 高等学校音楽教科書掲載程度の独唱曲から任意の1曲を原語、暗譜により演奏すること。 ※出願の際「初等教育コース音楽実技検査受験種目届（学校推薦型選抜Ⅱ）」に作曲者名及び曲名を記入し、楽譜を提出すること。（コピー、手書き、ともに可。ただし、正確で明瞭であること。楽譜の右上に受験番号（6桁）及び志願者氏名を記入すること。なお、提出された楽譜は返却しない。）なおピアノ伴奏は、つかない。検査場にあるピアノで歌い出しの音を自分でとることは可能。</p> <p>3. ソルフェージュ（全員必須）</p> <p>A. 小学校共通教材の階名唱 次の2曲の中から当日指定する1曲を無伴奏で階名唱すること。 （固定ド唱法、移動ド唱法いずれも可。繰り返しは省く。楽譜は当日提示するものを見て歌うこと。） 「ふじ山」（文部省唱歌） 「おぼろ月夜」（文部省唱歌）</p> <p>B. 聴音 単旋律の書き取りを行う。</p> <p>*小学校共通教材を除き、演奏はすべて暗譜とし、繰り返しを省く。</p>
--

Ⅹ 合格者発表

日時：令和4年（2022年）2月15日（火）10時（予定）

鹿児島大学ホームページ（<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するとともに、各学部において合格者の受験番号を掲示します。また、合格者には合格通知書及び入学手続に必要な書類等を上記日時以降に発送します。併せて、推薦を行った高等学校長あてにも合否結果を発送します。

なお、各学部における掲示については、新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大状況によって中止する場合があります、その場合はホームページ等でお知らせします。

合格者受験番号のホームページ掲載時刻前後は、回線の混雑により繋がりにくい場合があります。

電話・メール等による合否の問い合わせには一切回答いたしかねます。

Ⅹ 入学手続

入学手続は、合格者宛てに発送される本学所定の封筒に提出書類を封入し、次により行ってください。

1 入学手続日時

令和4年(2022年)2月21日(月)9時~17時(12時~13時を除く。)

- (1) 入学手続を郵送で行う場合は、入学手続日(最終日)の17時までに必着とします。なお、手続期間内に到着しないおそれがあるときは、上記日時に本学に持参して手続きを行ってください。
- (2) 上記日時までに手続きを行わなかった者は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ合格者としての権利が消失します。
- (3) やむを得ない事由により、入学手続日時に手続きができない場合は、入学手続日(最終日)の正午までに学生部入試課入試実施係(連絡先等は裏表紙参照)に電話連絡してください。
- (4) 合格者で特別の事由により入学を辞退する者は、高等学校長を経由して、具体的な辞退理由を記し、署名・捺印した「学校推薦型選抜Ⅱ入学辞退願」(本学学長あて・様式任意)を入学手続日(最終日)の17時までに学生部入試課入試実施係に提出し、許可された場合に限り入学辞退を認めます。
- (5) 合格者は、上記(4)の手続きにより入学の辞退を許可された場合を除いて、本学又は他の国公立大学・学部(独自日程で、入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の個別学力検査を受験しても合格の対象とはなりません。

2 入学手続場所

鹿児島大学事務局(詳細は合格通知書に同封される案内をご確認ください)

3 提出書類

- (1) 入学料振替払込受付証明書(お客さま用)
- (2) 本学の受験票
- (3) 大学入学共通テスト受験票
※ 再発行を受けた場合は、再発行された受験票のみが有効です。
- (4) 卒業(修了)証明書
※ 入学手続時に提出できない場合は、令和4年3月7日(月)までに、入学手続を完了した学部の担当係(裏表紙参照)に提出してください。
- (5) 宣誓書及び在学保証書(別途送付する本学所定の様式)
- (6) 学生証写真票(写真は縦4cm×横3cm)
- (7) その他本学が必要とする書類
※ 提出書類は変更となる場合がありますので、詳細は合格通知書に同封される案内をご確認ください。

4 納付金の納入

(1) 入学料 282,000円

- ① 納入方法の詳細については、合格通知書に同封される案内をご確認ください。
なお、次の場合には既納の入学料を返還します。
(ア) 入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合
(イ) 入学料を誤って二重に払い込んだ場合
- ② 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者(日本学生支援機構が実施する給付型奨学金の申請を希望する者を含む。)は、52~53頁を参照してください。入学手続時に入学料を払い込む必要はありません。
なお、入学手続後に入学を辞退する場合、入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり、必ず入学料を納入していただくことになります。
- ③ 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(2) 授業料 半期分 267,900円(年額 535,800円)

- ① 授業料は、免除申請中の者を除き、本人指定の口座から、前期分を5月下旬に、後期分を10月下旬に引き落とします。(2年次以降は、前期分を4月に、後期分を10月に引き落とします。)

- ② 授業料の免除を希望する者（日本学生支援機構が実施する給付型奨学金の申請を希望する者を含む。）は、53頁を参照してください。
 - ③ 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。
 - ④ 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- ※ 授業料の詳細については、合格通知書とともに送付される入学案内を参照してください。

XII 他の選抜への出願等について

- 1 一人の入学志願者が一つの年度において国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜に出願することができるのは、大学入学共通テストを課す選抜及び課さない選抜を含めて、一つの大学・学部の同一の募集単位（学科・課程・専攻等）に限ります。
- 2 学校推薦型選抜で不合格になった場合に備えて、「前期日程」で実施する大学・学部から1つ、「後期日程」で実施する大学・学部から1つの合計2つの大学・学部に出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学又は他の国公立大学の一般選抜の合格者となることはできません。
- 3 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜又は総合型選抜に合格し、入学手続を完了した者は、本学の学校推薦型選抜の合格者となることはできません。

XIII 個人情報の取扱いについて

- 1 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。
- 2 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報については、本学の入学者選抜・合格者発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導、授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債権管理等を行うためのみ利用し、他の目的には利用しません。
- 3 国公立大学・学部の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜Ⅱの合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

XIV 入試情報開示

○入学者選抜試験個人成績の開示

令和4年度（2022年度）入学者選抜試験に係る志願者の個人成績を次により開示します。

1 開示内容

(1) 試験成績

【得点】 個々の科目の得点及び総合得点を開示します。

【順位】 総合得点による順位を開示します。

※各選抜区分において、総合的な判定を行っている学部・学科等については、得点の代わりに段階別評価を開示する場合や、順位を開示できない場合がありますのでご了承ください。

(2) 調査書

開示しません。

2 開示請求登録期間

入試成績開示請求登録は、インターネット出願登録サイト上で出願手続と同時に進行が必要があるため、登録期間は各選抜区分のインターネット出願登録及び入学検定料支払い手続き期間に準じます。開示を希望する場合は、出願登録時に「入試成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。なお、この登録期間以外に開示請求登録を行うことはできませんので、注意してください。

3 開示期間

令和4年（2022年）5月1日（日）～5月31日（火）

4 開示請求者

志願者本人に限ります。（代理人による請求は認めません。）

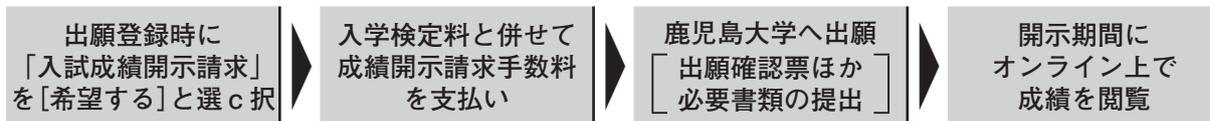
5 成績開示請求手数料

1選抜ごとに500円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

なお、払込手数料は志願者負担となります。

6 開示請求の流れ

入試成績開示はオンライン上で実施します。詳細は以下の通りです。



※開示期間中は受験番号・生年月日・インターネット出願登録時のセキュリティコードで専用サイトにログインし、入試成績を確認できます。詳細は令和4年（2022年）4月下旬頃に掲載しますので、以下のURLからご確認ください

入試成績開示案内ページ（URL）<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/kaiji.html>

7 その他の注意点

- (1) 令和3年度（2021年度）入試以前の個人成績については開示しません。
- (2) 上記開示期間外における成績開示は行っていません。
- (3) 郵送、電話、メール及び学生部入試課の窓口での開示請求については受け付けません。

○問題及び正解・解答例の公表

入学者選抜終了後、「問題」及び「正解・解答例」を本学が指定する時期に本学ホームページ（<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/kakomon.html>）上で公表します。

なお、次の点に留意してください。

1. 正解・解答例については「例示」であり、複数の正解・解答例があり得ます。
2. 正解・解答例に代えて、出題意図を公表する場合があります。
3. 本学の問題又は正解・解答例を利用（複製・譲渡）する場合は、所定の書類を学生部入試課へ必ず提出してください。

XV 障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

1 相談の期間

原則として、各選抜区分の出願期間開始日の14日前までとします。

2 事前相談の方法

必要書類をご提出いただく前に、まずは、メール又は電話により学生部入試課へご連絡ください。内容をお伺いしたうえで、必要書類等をご案内いたします。

3 必要書類及び提出方法等

事前相談書及び医師の診断書等を学生部入試課へご提出ください。様式などの詳細は本学ホームページの「障害のある入学志願者の事前相談について」を参照してください。

(URL) <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/jizensoudan.html>

4 事前相談における留意事項

- (1) 相談の内容によっては、本学での試験実施までに対応が間に合わず、特別な配慮が講じられない場合がありますので、できるだけ早い時期にご相談ください。
- (2) 事前相談は、出願を予定している全ての選抜区分について行う必要があります。
- (3) 事前相談のための必要書類は、出願書類等に同封せずに別途送付してください。

5 事前相談に関する連絡先及び書類送付先

〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21-24 鹿児島大学学生部入試課入試実施係

E-mail : nyushi@kuas.kagoshima-u.ac.jp TEL : 099-285-7355

(電話による連絡は土曜日・日曜日・祝日・大学が指定する休日を除きます。)

Ⅷ 学生寮，入学料免除制度，入学料徴収猶予制度，授業料免除制度及び奨学金等

次の項目の詳細については，鹿児島大学学生部学生生活課にお問い合わせください。

(土曜日・日曜日・祝日・大学が指定する休日を除く。)

学生寮……………学生企画係 TEL：099-285-7340

入学料免除制度，入学料徴収猶予制度，授業料免除制度 ……経済支援係(免除担当) TEL：099-285-7033

奨学金……………経済支援係(奨学金担当) TEL：099-285-7329

1 学生寮

本学には，学生の居住施設としての学生寮及び外国人留学生のための国際交流会館があります。

学生寮に入寮を希望する場合は，本人の申請に基づき選考を行い，経済的困窮度の高い者から優先的に入寮が許可されます。

なお，学生寮に入寮できる条件は，原則として，自宅から公共交通機関を利用して通学に90分以上を要する者です。

(1) 概要

2021年4月現在

寄 宿 舎 名	と 唐 湊 寄 宿 舎		さくらが丘寄 宿 舎	
男 女 の 別	男 子 寮		女 子 寮	
建 物 名	A 棟	B 棟	唐 湊 女 子 寮	桜ヶ丘女子寮
収 容 定 員	76人	92人	81人	99人
寄宿料 (月額)	4,300円	4,300円	4,300円	5,900円
寮 構 造	鉄筋5階建	鉄筋5階建	鉄筋4階建	鉄筋5階建
建 築 年 度	昭和57年	昭和58年	昭和41年 平成13年全面改装	昭和49年 平成20年一部改装
居 室 の 形 態	個室	個室	個室	個室
入居対象学部等	全学部 (大学院生を含む。)		医学部・歯学部を除く 全学部 (大学院生を含む。)	医学部・歯学部のみ (大学院生を含む。)
寮から各キャンパスへの通学所要時間	※郡元キャンパスまで，徒歩約15分 ※下荒田キャンパス (水産学部) まで，徒歩約30分 ※桜ヶ丘キャンパス (医学部・歯学部) まで，バス，電車等を利用し約1時間			桜ヶ丘キャンパス内 (医学部・歯学部)
諸 経 費	光熱水費など 月額 7,000円			
管 理 人	(各管理人の勤務時間) 唐湊寄 宿 舎 (男子寮)：平日10時～17時 唐湊寄 宿 舎 (女子寮)：平日9時～17時 桜ヶ丘寄 宿 舎 (女子寮)：平日10時～17時			
所 在 地	唐湊寄 宿 舎 〒890-0081 鹿児島市唐湊三丁目3-1 桜ヶ丘寄 宿 舎 〒890-0075 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35-1			
そ の 他 設 備 等 に つ い て	食事なし (自炊可能) キッチン，トイレ，浴室，洗面所は共同 洗濯機，乾燥機を各階に設置			

※寮にはインターネット光回線が配線されていますので，Wi-Fiは各個人で契約すれば利用できます (使用料は個人負担)。

※寮にエレベーターはありません。また，バリアフリー化 (スロープ，身障者用トイレ，手すり) についても未整備です。

(2) 学生寮への入寮手続について

学生寮への入寮を希望する者は、次の内容を確認し、入寮者募集要項及び入寮願書を取得のうえ、申請してください。

①入寮者募集要項及び入寮願書の公表 令和3年(2021年)12月中旬

②取得方法

●鹿児島大学ホームページからダウンロード(A4用紙に印刷)

(URL) <https://www.kagoshima-u.ac.jp//education/ryou.html>

「鹿児島大学」→「入学希望」→「入学時の必要経費、奨学金等」の「学生寮」をクリック

●郵送による請求

次の要領により、下記⑤の担当部署へ請求してください。

・返信用封筒(「角形2号」封筒に140円切手を貼付し、送付先の郵便番号、住所及び氏名を明記したもの)を同封のうえ、請求する封筒の表に「学生寮入寮願書請求」と朱書きし、入学試験関係書類とは別に請求してください。

・郵送による請求は、令和4年(2022年)1月27日(木)まで受け付けます。

③申請受付期間

令和4年(2022年)1月28日(金)から2月10日(木)17時までまでに必着のこと。

④入寮選考結果の通知

対象	通知日
一般選抜(前期日程)、AO型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人学部留学生選抜、国際バカロレア選抜、自己推薦型選抜、学部編入学及び大学院入学予定者	令和4年(2022年)3月6日(日)
一般選抜(後期日程)	令和4年(2022年)3月20日(日)

⑤担当部署

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21-30

鹿児島大学学生部学生生活課学生企画係(共通教育棟1号館1階)

TEL:099-285-7340

※新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、学生寮への入寮手続き等が変更になることがあります。変更となる場合は決定次第、ホームページで公表いたします。

2 アパート・マンション・食事付下宿について

学生用のアパート・マンション・食事付下宿については、鹿児島大学生生活協同組合で紹介しています。

(1) 紹介時期 通年

(2) 場 所 鹿児島大学生協すまいの窓口(中央食堂裏)

2月中旬～3月末は中央食堂内特設会場(郡元キャンパス)

(3) 家賃などの目安

アパート木造(19.4～22.7㎡) 20,000円～30,000円(キッチン、バス、トイレ付)

1K及びワンルームマンション(16.2～25㎡) 28,000円～45,000円(キッチン、バス、トイレ付)

1K及びワンルームマンション(25～35㎡) 42,000円～55,000円(キッチン、バス、トイレ付)

食事付下宿(17.9㎡) 69,800円

(4) 問い合わせ先

鹿児島大学生生活協同組合すまいの窓口 TEL:099-255-3427

インターネットでのお部屋さがしは

「お部屋さがし」のボタンを押してください。

「合格前の仮予約」については、鹿児島大学生協にお問い合わせください。

3 入学科免除制度

『高等教育の修学支援新制度』に基づき日本学生支援機構の給付型奨学金の支援区分に応じて免除される制度があります。

4 入学料徴収猶予制度

経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内に学資負担者が死亡した者、本人又は学資負担者が地震や風水害などの災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収が一定期間猶予される制度があります。

なお、日本学生支援機構の給付型奨学金を申請中の者または申請予定の者は採用が決定するまでは一定期間猶予されます。

5 授業料免除制度

『高等教育の修学支援新制度』に基づき日本学生支援機構の給付型奨学金の支援区分に応じて免除される制度があります。

入学料免除・徴収猶予及び授業料免除の申請手続きについては、合格後に配布される「入学案内」にて概要をご案内するほか、令和4年2月初旬（予定）本学ホームページ（教育・学生生活→学費・経済支援、授業料免除及び入学料免除・徴収猶予）にも掲載しますので、必ず確認しておいてください。

6 奨学金

(1) 日本学生支援機構奨学金

学業・人物ともに優秀であって経済的理由により修学が困難と認められる学生に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、奨学金が貸与・給付されます。

奨学金の種類には、貸与型と給付型があります。

【貸与型】（金額は令和3年度）

貸与型には、「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、第一種・第二種の併用貸与も可能です。また、1年次において入学月を始期として奨学金の貸与を受ける者は、「入学時特別増額貸与奨学金（有利子）」を併せて申請することが可能です。（編入生の場合は、編入学年月を貸与始期とする者のみ。）

	種 別	貸 与 額
貸与型	第一種奨学金 （無利子）	自宅通学：20,000円, 30,000円, 45,000円 自宅外通学：20,000円, 30,000円, 40,000円, 45,000円, 51,000円
	第二種奨学金 （有利子）	20,000円～120,000円の間で1万円単位で選択可
	入学時特別増額貸与奨学金 （有利子）	100,000円, 200,000円, 300,000円, 400,000円, 500,000円

【給付型】（金額は令和3年度）

給付型は、『高等教育の修学支援新制度』の一つとして2020年度より新たに開始された原則、返還義務のない奨学金です。貸与型との併給も可能です。給付奨学金の受給者は、入学料及び授業料減免の対象となりますが、別途手続きが必要です。

	学種・世帯の所得金額に基づく区分	通学形態		入学料・授業料減免
		自宅通学	自宅外通学	
給付型	第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円	全額免除
	第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	2 / 3 免除
	第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	1 / 3 免除

※生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

また、第一種奨学金との併給の場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

(2) 鹿児島大学離島高等学校出身者支援スタートアップ奨学金

鹿児島県内の離島地域に所在する高等学校を卒業し現役で鹿児島大学に入学した学部生のうち、入学年度の本学前期分授業料免除を申請したうえで、許可された学生を対象に、予算の範囲内で25万円を給付する制度です。

(3) その他の奨学金

日本学生支援機構のほかに、都道府県市町村奨学金や各種団体奨学金があり、本人が直接出願するものと大学を通して行うものがあります。

なお、団体等によっては、日本学生支援機構やその他の奨学金との重複採用を認めないことがあります。

7 保険

(1) 学生教育研究災害傷害保険

体育実技や実験実習・課外活動中には、万全の注意を払っていても不幸にして不慮の事故により負傷・後遺障害といった災害を被ることがあります。

このような正課中、学校行事中及び課外活動中に被った災害・傷害（体育実技・課外活動中のケガ、実験中の火傷等）に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」があります。この保険は通学中等担保特約付きとなっていて、通学中の事故についても補償されます。

その他、日本国内外において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償する制度として「学研災付帯賠償責任保険」があり、Aコース（正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復（Bコースの補償範囲を含む））及びBコース（インターンシップ、教職資格活動等、ボランティア活動及びその往復）があります。

この保険は「学生教育研究災害傷害保険」に加入した者のみ加入でき、入学後、必要に応じて加入することになります。

学 部	保険料（掛金）	学 部	保険料（掛金）
法 文 学 部	「学生教育研究災害傷害保険」 3,300円（4年間分）	医 学 部 歯 学 部 共 同 獣 医 学 部	「学生教育研究災害傷害保険」 4,800円（6年間分）
教 育 学 部			
理 学 部			
工 学 部	「学研災付帯賠償責任保険」 Aコース 340円（1年間分） Bコース 210円（1年間分）		「学研災付帯賠償責任保険」 Aコース 340円（1年間分） Bコース 210円（1年間分）

(注) 保険料は、改定されることがあります。

(注) 医学部及び歯学部は「学生教育研究災害傷害保険」の「接触感染予防保険金支払特約」（100円・6年間分）及び「学研災付帯賠償責任保険」のCコース（医療関連実習及びその往復：3,000円・6年間分）が必要となります。

詳しくは、鹿児島大学生生活協同組合（TEL：099-255-0131）にお問い合わせください。

(2) 学生総合共済・学生賠償責任保険

鹿児島大学生生活協同組合が扱っている24時間保障の「学生総合共済・学生賠償責任保険」は、学内外の日常生活で生じるスポーツ事故、交通事故、一時的な病気、その他について必要な補償が受けられる制度です。

詳しくは、鹿児島大学生生活協同組合（TEL：099-255-0131）にお問い合わせください。

8 入学時の必要経費

入学科282,000円、授業料（半期分）267,900円のほかに学友会費（4年間分）20,000円 [医学部（医学科）、歯学部、共同獣医学部は（6年間分）29,200円]、教科書代等15,000円～30,000円程度の所要経費が見込まれます。

その他、学部によっては、後援会費等の諸経費が別途必要な場合があります。詳しくは、各学部の担当係（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※共同獣医学部では、講義、演習及び実験・実習に伴う必要な交通費・宿泊費などの経費について、学生負担をお願いする場合があります。

高等学校長の推薦書

令和 年 月 日

鹿児島大学長 殿

高等学校名

学校長名

印

記載責任者名

印

下記の者を、貴大学学生募集要項（学校推薦型選抜Ⅱ）に基づき、責任をもって推薦します。

記

志願学部	学部	志願学科等	学科 課程
			コース（教科名等： ） プログラム

学 科	科	卒業見込み 卒 業
フリガナ	生 年 月 日	平成 昭和 年 月 日
生徒氏名	性 別	男 ・ 女

推 薦 理 由	
------------------	--

（注）「推薦書記入上の注意」を参照のうえ、記入願います。なお、卒業後時間が経っている既卒者の推薦を行う場合には、責任をもって推薦できる理由を「推薦理由」に具体的に記入してください。

学 業	成績順位 当該学科中	第1学年 人中 位	第2学年 () 人中 位	第3学年 () 人中 位
	成績順位を 記載できない 理由			
人 物	見 本			
(課 社 会 活 外 動 を 活 含 む 。) 動				
そ の 他				

高等学校長の推薦書記入上の注意

各欄とも概評にとどまらず、具体例をあげて記入してください。

1 「志願学部」及び「志願学科等」欄について

- 募集要項 20 頁に記載している学部及び学科等を記入してください。
- 「志願学科等」は、該当する学科等を○で囲んでください。
- 「教科名等」は、教育学部初等教育コースは一般、音楽、保健体育、中等教育コースは国語、社会、英語、数学、理科、美術のいずれかを記入してください。

2 「学科」欄について

- 「卒業見込み」、「卒業」のいずれかを○で囲むこと。
- 「卒業」は、医学部医学科又は歯学部に出願する場合のみです。ただし、歯学部の志願者は令和3年3月以降の卒業者に限ります。

3 「推薦理由」欄について

- 推薦する理由を具体的に記入してください。
- 卒業後時間が経っている既卒者の推薦を行う場合には、責任をもって推薦できる理由を具体的に記入してください。
- 本人の進学希望の理由（意志・意欲・熱意等）を記入してください。

4 「学業」欄について

- 成績順位は、調査書の成績段階別人数の合計人数をお確かめのうえ、記入してください。
- 成績順位を文系コース、理系コース、国立文系コース、国立理系コース等でクラス分けしている場合は、そのコース名を（ ）内に記入してください。
なお、成績順位を記載できない場合は、その理由を下欄に記入してください。
- 授業中の活動・勉学の自発性・計画性・持続性・理解力・創造的思考力等について記入してください。

5 「人物」欄について

- 調査書の「特別活動の記録」欄においても人物の記述がありますが、一層よく表現できるような具体例をあげて記入してください。

6 「課外活動（社会活動を含む。）欄について

- ホームルーム又は生徒会の役員をしたことがあれば、その詳細について記入してください。
- 所属クラブ及びクラブ内での役割、クラブ活動の状況を記入してください。
- 校外での団体活動等について記入してください。

7 「その他」欄について

- 本人の生活態度、趣味、特技等について記入してください。
- 在学中に取得した検定資格等があれば記入してください。
- その他本人について特記すべき事項があれば記入してください。

8 推薦書の提出について

- 両面印刷（A4 サイズ）し押印後、必ず厳封したものを提出してください。（手書き又はパソコンでの作成可）
- 昨年度の様式、様式の改変や項目が不足している等、所定の様式と異なる場合、不備書類として扱い、受け付けないので注意してください。

2 志願学科を選んだ理由及びこの学科で学びたいことについて600字程度で書いてください。(ボールペンで手書き)

見 本

音楽実技活動の実績調書

教育学部学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽

受験番号	※記入しないこと
------	----------

フリガナ	生年月日	性別
氏名	平成 年 月 日	男 ・ 女

出身学校等	
都道府県	高等学校 中等教育学校 学 校
	令和 年 月 卒業見込み

受賞歴等の欄に記載する音楽実技種目	
主たる音楽系部活動・音楽系団体名	通算経 年 数
部活動・団体役員経験	役職名

受賞歴等	コンクール・演奏会等の正式名称	年月	主催者	会場	演奏楽器名・演奏パート名等	成績・記録 (詳しく記入すること。)
	受	[国際 全国] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月			
賞	[国際 全国] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月				
歴	[国際 全国] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月				
等	[国際 全国] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月				
	[国際 全国] [地方ブロック 県 他]	平成・令和 年 月				

その他

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

令和 年 月 日

学 校 名
所 在 地
学 校 長 名

印 記載責任者

印

本調書は、高等学校等が作成・押印のうえ、厳封すること。また、裏面「記入上の注意事項」を参照のこと。
本調書に記載した実績を証明するプログラム、賞状及び各種検定グレード証明書等の写し（A4印刷）を添付すること。

記入上の注意事項

- 1 ※欄は記入しないこと。
- 2 受賞歴等の欄に記載する音楽実技種目は、個人で取り組んでいる実技種目や部活で担当している実技種目のうち、記載する受賞歴等に該当する種目を記入すること。
例：フルート、ピアノ
- 3 役職名は、部活動や音楽系団体において経験した部長・副部長・パートリーダー等を記入すること。
- 4 各種検定グレード等の取得者は、グレードレベル等を具体的に「その他」の欄に記入すること。また、そのグレードの証明書等の写しを本票とともに同封して提出すること。
例：ヤマハエレクトーン演奏グレード4級、カワイピアノグレードテスト5級
- 5 受賞歴等については、得意とする演奏分野や楽器について高等学校在学中に出場したコンクールや演奏会のうち（高等学校単位で出場したものだけに限らない。例えば個人参加のコンクールやリサイタル、学校外の音楽団体等の演奏会も含む）、良い成績を修めたものや重要度が高いと判断するものを、次の記入例にならって、5つまで記入すること。

記入例（合唱、吹奏楽、ピアノ、声楽、外部音楽活動）

	コンクール・演奏会等の正式名称	年月	主催者	会場	演奏楽器名・演奏パート名等	成績・記録 (詳しく記入すること。)
受賞歴等	第〇回全日本合唱コンクール全国大会 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	平成・令和 〇年 〇月	全日本合唱連盟、朝日新聞社	〇〇文化会館	アルトパート	合唱部として〇賞受賞
	第〇回九州吹奏楽コンクール高等学校A部門 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	平成・令和 〇年 〇月	九州吹奏楽連盟、朝日新聞社	〇〇シンフォニーホール	フルートパート	吹奏楽部として〇賞受賞
	第〇回南日本音楽コンクールピアノ部門 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	平成・令和 〇年 〇月	南日本新聞社	鹿児島市民文化ホール第2	個人	〇賞受賞
	第〇回鹿児島県高等学校音楽コンクール声楽部門 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	平成・令和 〇年 〇月	鹿児島県高等学校文化連盟、鹿児島県高等学校教育研究会音楽部会	霧島国際音楽ホール	個人	〇賞受賞
	第〇回MBCユースオーケストラ定期演奏会 [国際 全国 地方ブロック 県 他]	平成・令和 〇年 〇月	MBC南日本放送	鹿児島市民文化ホール第1	バイオリンパート	定期演奏会に出演。出演者数80名。バイオリンパート20名。〇〇作曲の交響曲第〇番とバレエ音楽《〇〇》を演奏した。
その他	ヤマハエレクトーン演奏グレード4級（ヤマハ音楽振興会、平成〇年〇月〇日取得） 第〇回鹿児島県高等学校音楽コンクールにおいて優秀ピアノ伴奏者賞を受賞（鹿児島県高等学校文化連盟、鹿児島県高等学校教育研究会音楽部会、霧島国際音楽ホール、平成〇年〇月〇日）					

- (1) コンクール・演奏会等は正式の名称を記入すること。[]内は当該コンクール・演奏会等の規模について、該当するものを○で囲む。
- (2) 年月の欄は平成か令和を○で囲む。
- (3) 成績・記録は個人・団体など具体的に記入すること。定期演奏会等の発表記録は、演出・役柄等の役割、題名、出演者数等を明記すること。
- (4) 記載したコンクール・演奏会等の成績・記録を証明できるもの（賞状、プログラム等）の写しを本票とともに同封して提出すること。
- 6 その他の欄には高等学校時代の活動について、次のような項目に該当することがあれば、具体的に記入すること。また、それを証明できるもの（賞状、プログラム等）の写しを本票とともに同封して提出すること。
 - (1) 全国・地方・県選抜団体のメンバーに推薦又は選ばれた経験
 - (2) その他特筆すべき事項
- 7 本調書は、高等学校等が作成・押印のうえ、厳封し、封筒の表に「音楽実技活動の実績調書在中」と記入のうえ、他の出願書類とともに提出すること。
- 8 本調書に記載した実績を証明するプログラム、賞状及び各種検定グレード証明書等の写し（A4印刷）を添付すること。

実技検査受験種目届

教育学部学校教育教員養成課程 初等教育コース 音楽

受験番号 〔インターネット出願登録サイトから 出力した出願確認票に記載の受験番 号（6桁）を記入〕		性別 〔○で囲むこと。〕	男 ・ 女
フリガナ			
氏 名			

ピアノ受験曲	作曲者名「	」
	曲 名「	」
	作品番号「	」
	楽 章「	」
その他の楽器 受験曲 (希望者のみ)	楽 器 名「	」
	作曲者名「	」
	曲 名「	」
声乐受験曲	作曲者名「	」
	曲 名「	」

見 本

- (注) 1 ピアノは、作曲者名、曲名、作品番号、楽章を記入すること。
2 その他の楽器での受験希望者は、その楽器名、作曲者名及び曲名を記入し、楽譜（楽譜の右上に受験番号（6桁）、志願者氏名及び楽器名を記入すること。）を提出すること。
3 声乐は、作曲者名、曲名を記入し、楽譜（楽譜の右上に受験番号（6桁）及び志願者氏名を記入すること。）を提出すること。
4 出願後の変更は認めない。

実技調書

教育学部学校教育教員養成課程
初等教育コース 保健体育

受験番号	※記入しないこと
------	----------

フリガナ	生年月日	性別
氏名	平成 年 月 日	男・女

出身学校等	
都道府県	高等学校 中等教育学校 年 月 卒業見込み 学 校

主たる運動部活動名	通算経験	
運動部役員経験	役職名	年 数

競技歴	競技会・発表会等の正式名称	年月	主催者	会場	出場種目 ポジション	成績・記録 (詳しく記入すること。)
	国際 全国A 全国B 地方ブロック 県 他	平成・令和 年 月				
国際 全国A 全国B 地方ブロック 県 他	平成・令和 年 月					
国際 全国A 全国B 地方ブロック 県 他	平成・令和 年 月					

その他

本書の記載事項に誤りがないことを証明する。

令和 年 月 日

学校名
所在地
学校長名

印 記載責任者

印

本調書は、高等学校等が作成・押印のうえ、厳封すること。また、裏面「記入上の注意事項」を参照のこと。
本調書に記載した入賞歴を証明する資料の写し（A4印刷）を添付すること。

記入上の注意事項

- 1 ※欄は記入しないこと。
- 2 役職名は、クラブにおいて経験した主将・副主将・主務等を記入すること。
- 3 資格取得者は、段位等を具体的に「その他」の欄に記入すること。
例：スキー1級，柔道2段，剣道2段
- 4 競技歴については、得意とするスポーツ種目について高等学校在学中に出場した大会のうち（高校単位で出場したものだけに限らない。例えば県選抜等も含む。）、良い成績を修めたものを次の記入例にならって、3つまで記入すること。

記入例（陸上，柔道，ダンス，体操競技，バスケットボール）

	競技会・発表会等の正式名称 []内は該当するものを○で囲むこと。	年月	主催者	会場	出場種目 ポジション	成績・記録 (詳しく記入すること。)
競 技 歴	第○回全国高等学校総合体育大会「陸上競技」 [国際 ○ 全国A 全国B 地方ブロック 県 他]	平成○年○月 令和○年○月	全国高等学校体育連盟	○○県陸上競技場	走り幅跳び	予選記録○○m○○cm 決勝記録○○m○○cm (第○位)
	第○回全国高等学校総合体育大会「柔道競技」○○県予選 [国際 全国A 全国B 地方ブロック ○ 県 他]	平成○年○月 令和○年○月	○○県高等学校体育連盟	○○県武道館	個人 団体(正) 両方に出場	団体は3回戦進出 先鋒として出場し、2勝1分け 個人(-78kg)は、3回戦対○ ○選手(○○高校)に僅差負け
	第○回全日本高校・大学ダンスフェスティバル [国際 全国A ○ 全国B 地方ブロック 県 他]	平成○年○月 令和○年○月	日本女子体育連盟	○○県文化ホール		「鼓動」(15人)を創作したコンクール部門本選に出場した
	第○回九州ジュニア体操競技選手権大会 [国際 全国A 全国B ○ 地方ブロック 県 他]	平成○年○月 令和○年○月	全日本ジュニア体操クラブ連盟	○○県体育館	(正)	個人総合○位 ゆか ○位
	第○回全国高等学校体育大会「バスケットボール競技」 [国際 ○ 全国A 全国B 地方ブロック 県 他]	平成○年○月 令和○年○月	全国高等学校体育連盟	○○県体育館	レギュラー、補欠の別 エントリー、エントリー外別及びポジション	3回戦進出
その他	県選抜バスケットボール大会，得点王（3試合で85点）の表彰 金鷲旗柔道大会対○○高校，5人抜き表彰 剣道2段（全剣連発行，平成○年○月○日）					

- (1) 競技会・発表会は正式の名称を記入すること。[]内は当該大会の規模について、該当するものを○で囲む。ただし、国際大会は日本代表として出場したもの、全国Aは地方大会の予選を経たもの、全国Bは予選を経ずに各高校からただちに参加できる大会を意味する。
- (2) 出場種目・ポジションの欄には正・補欠を区別するほか、記入例に従って明記すること。
- (3) 成績・記録は個人・団体・リレーなど具体的に記入すること。ダンス等の発表記録は、創作・出演等の役割、題名、出演者数等を明記すること。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う全国大会等の代替となる地方大会は、「他」を○で囲むこと。
- 5 その他の欄には高校時代の活動について、次のような項目に該当することがあれば、具体的に記入すること。
 - (1) 全国・地方・県選抜チーム・国体（最優秀選手賞，ベストプレイヤー賞，得点王等）に推薦又は選ばれた経験
 - (2) その他特筆すべき事項
- 6 本調査は、高等学校等が作成・押印のうえ、厳封し、封筒の表に「実技調書在中」と記入のうえ、他の出願書類とともに提出すること。
- 7 本調査に記載した入賞歴を証明する資料の写し（A4印刷）を添付すること。

鹿児島大学位置図



鹿児島大学各学部等の連絡先一覧

学部地区	学部等	担当係名	所在地	電話番号
A 郡元キャンパス	学生部入試課	入試実施係	〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21-24	099-285-7355
			E-mail : nyushi@kuas.kagoshima-u.ac.jp ※回答に正確を期すため、メールでの問い合わせを推奨しております。	
	法学部 教育学部 理学部 工学部 農学部 共同獣医学部	学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-30	099-285-7525
		教務係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20-6	099-285-7713
		学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-35	099-285-8025
		学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-40	099-285-3066
	学生係	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-24	099-285-3553	
B 桜ヶ丘キャンパス	医学部	医学教務係	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35-1	099-275-6721
	歯学部	保健学教務係		099-275-6724
		歯学教務係		099-275-6040
C 下荒田キャンパス	水産学部	学生係	〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目50-20	099-286-4040

※学生部入試課へのアクセス

JR 鹿児島中央駅東口バスのりば「東14」から鹿児島交通バス「18 大学病院線」, 「東15」から市営バス「11 鴨池・冷水」, 「20 緑ヶ丘・鴨池港」, 南国交通バス「[N39] 武岡・鴨池港」, 「東22」から鹿児島交通バス「19 紫原・桜ヶ丘」を利用し, 「鹿大正門前」下車, 徒歩約2分

鹿児島大学ホームページアドレス

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>